新年特集
2面＝一般記事
3面＝「元売再編で業界新時代へ」
4面＝大阪特集「黒船来襲～コストコ大阪に上陸」
5面＝近畿特集「災害に備え地域の安全確保へ」
6面＝中国特集「協定と訓練両輪に災害時の供給維持へ」
7面＝四国特集「活発化する青年部会活動」
9面＝マンガ「人手不足？なんじゃらほい」
10、11面＝九州特集「ＳＳだけの武器『きずな』生かして」

ぜんせき
THE ZENSEKI
第7769号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）
1月5日（金曜日）　2018年（平成30年）
発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

2018年
新年特集号

精販連携し〝最後の砦〟守る

安定供給確保に向け、石油サプライチェーンの維持・強化に取り組むことを誓い合う森全石連会長㊨と木村石連会長

内需減少やＥＶシフトの動向、国際競争力の強化を目指した元売再編など、石油業界を取り巻く大きな環境変化の中で、平時・災害時を問わず、国民生活や日本経済を支える社会インフラである製油所・油槽所・ＳＳに至る〝石油サプライチェーン〟を維持、強化する重要性が改めて浮き彫りとなっている。この社会的使命を果たすには、精販とも再投資可能な適正利潤の確保による健全経営の確立が急務だ。新年恒例の全石連・石油連盟両会長による対談は『社会に資するエネルギー供給〝最後の砦〟を守る』をテーマに、石油の安定供給体制を堅守するための課題や展望を語り合った。（敬称略）

元売再編で〝新章〟突入

Q　原油市況の見通し

木村　昨年11月のOPEC総会では、非OPECを含め協調減産を今年末まで延長することで合意するなど、主要産油国の需給均衡に対する強い結束力が確認されました。今後も世界の石油需要は堅調に伸びると見込まれることに加え、協調減産の継続実施によって、原油需給のバランス改善傾向が続くでしょう。原油価格は当面60ドル台で推移すると考えています。

Q　昨年の小売市況の総括と新年の見通し

森　JXTGエネルギーの発足から約9ヵ月。透明・公正な仕切り体系を基本に据え、販売子会社SSも採算販売姿勢を続けています。昭和シェル石油も昨年11月から従来の建値仕切りをやめ、精販とともにコスト意識を高める方針へと大きく転換しました。一方、コストコ併設SSは〝新たなステージ〟に入ったと認識しています。政府が2015年7月に策定した「長期エネルギー需給見通し」によれば、石油は30年でも一次エネルギーの最大シェア約3割を占め、「今後とも活用していく重要なエネルギー源」「エネルギー供給の『最後の砦』」とされていますが、系列玉と業転玉との格差が縮まり、PB業者の中にも厳しい経営状況がうかがえます。昨年は原油価格が上昇しましたが、ほぼ適正に価格転嫁が進みました。ただ、総じて小売業者が十分なマージンを得られているとはいえず、首都圏などの激戦地ではより厳しい状況です。

精販双方が再投資可能な経営を確立し、ウィン・ウィン関係に至るまでには引き続き努力が必要でしょう。石油販売・SS業を守るためには、再投資可能なマージンの確保が不可欠です。

Q　内需見通しと精製元売としての対応策

木村　内需は、足下の底堅い景気動向を反映し、堅調に推移している一方、今後は緩やかに減少することが見込まれています。そうした中、精製元売各社はエネルギー供給構造高度化法2次告示への対応として残油処理装備率の改善を達成しました。同時に事業再編や経営統合を通じた競争力強化に取り組み、石油業界は〝新たなステージ〟に入ったと認識しています。政府が2015年7月に策定した「長期エネルギー需給見通し」によれば、石油は30年でも一次エネルギーの最大シェア約3割を占め、「今後とも活用していく重要なエネルギー源」「エネルギー供給の『最後の砦』」とされていますが、そうした中、精製元売各社はエネルギー供給構造高度化法2次告示への対応として残油処理装備率の改善を達成しました。同時に事業再編や経営統合を通じた競争力強化に取り組み、石油業界は〝新たなステージ〟に入ったと認識しています。政府が2015年7月に策定した「長期エネルギー需給見通し」によれば、石油は30年でも一次エネルギーの最大シェア約3割を占め、「今後とも活用していく重要なエネルギー源」「エネルギー供給の『最後の砦』」とされています。

木村　康
石油連盟会長

木村▼3つの「安定」達成に協力を

Q　元売再編の動向および狙いと期待

木村　精製元売各社は経営基盤強化のため、設備の最適化・高度化、製油所同士あるいは石油化学工場との連携、石油化学製品など高付加価値製品へのシフトやアジア新興国への輸出拡大などの取り組みを進めています。また、電力小売事業への参入など消費者が求めるエネルギーを供給する総合エネルギー産業化にも努めています。

一方で石油業界の企業再編も進んでおり、昨年4月にはJXTGエネルギーが発足したほか、5月には出光興産と昭和シェル石油が協業事業を強化・推進するアライアンスを締結しました。合理的・効率的な供給体制を構築するにあたって、個社のみでの対応に限界があるとすれば、企業再編にまで踏み込むことも自然な流れです。

森　再投資可能な健全な販売業界を構築するため、精製元売に期待する一丁目一番地は長年にわたり、具体的な行動を業界内外に発信することが重要です。

木村　SSが「地域社会へのエネルギー供給拠点」として不可欠なインフラであることを踏まえれば、SSの減少が消費者の利便性を損なうだけではなく、さらに事態が深刻化するようであれば地域社会への燃料の安定供給に危機感を抱かざるを得ません。また、SS過疎地問題は、民間企業である流通業者や元売の努力だけで解決できるものではありません。社会政策の観点から、今後も自治体や行政が主導して取り組むことに期待しています。

森　SS数は約3・1万ヵ所と1994。社会政策の観点から、今後も自治体が公平かつ透明な卸価格体系を形成することにつながり、我々も将来を見据えた経営戦略を選択できるようになると期待しています。明確な卸価格体系の形成で個々のSSが創意工夫によって収益を上げることが可能となり、それが全国のSSサプライチェーンの維持・強化につながると確信しています。

会長就任に際し「官公需部会」「SS経営革新部会」「次世代部会」を新設し、より具体的に議論を進めています。現在29都府県へと広がった青年部会の活動も活発化しており、次世代SS像を描く方針です。これは事業承継にもつながるため、その意味でも、健全な石油業界を目指さなければなりません。

木村　私はかねてより、石油の「安定供給」「安定需要」「安定収益」という3つの「安定」が重要と申し上げてきました。これらの「安定」は、いずれも販売業界の皆様との協力なしには達成しえないものです。今後も必要なサポートを継続し、SSがエネルギーの安定供給という社会的使命を担い続けることができるよう、皆様と一緒に取り組んでいきます。

Q　ガソリン適正取引慣行ガイドラインについて

森　SS間の公正な競争環境の整備に向け、元売・系列SS間の適正な取引慣行の形成を促すものと書かれています。具体的にいえば、JXTGが販社を中心に採算販売を徹底していることは業界全体の将来を確かなものにする大きな動きだと考えており、全社がその方向へと着実かつ速やかに進むことを期待しています。

森　洋
全石連会長

不公平税制の改善訴え

Q　高度化法3次告示やエネルギー基本計画見直しについて

木村　高度化法3次告示の基本的考え方として、国際競争力強化の観点から、一層の重質油分解装置の有効活用を目指すとされている点は、我々のこれまでの主張に沿ったものと考えています。また、企業の経営判断の柔軟性を確保することを原則とし、災害や原油の重軽格差といった経済情勢の変化などにより、目標達成が困難となる場合に状況報告を行う項目が設けられたこと、告示の対応期間が5年とされたことも極めて適切と捉えています。この取り組みを通じて、今後ともさらなる競争力強化を図っていく所存です。また、エネルギー基本計画の見直し作業が進んでいますが、石油は現行計画で「今後とも活用していく重要なエネルギー源」と位置付けられており、引き続き石油の重要性を踏まえた議論がなされることを期待しています。

Q　石油増税反対「総決起大会」について

森　昨年11月の石油増税反対総決起大会では、自民党税制調査会の野田毅最高顧問と宮沢洋一会長が揃って石油増税などを考えていないと表明いただきましたが、環境省などはいまだ化石燃料への増税を検討している模様で、予断を許さない状況です。国民・お客様のために気を緩めず、愚直に増税反対を訴え続けていきます。

総合SS化も選択肢

Q　課税公平性の確保について

森　ガソリン車やディーゼル車のユーザーのみが膨大な税金を負担しており、EVなどの利用者はその負担を逃れています。国民の公共財である道路を同じように走っているにもかかわらず、自動車の動力源の違いによって税負担に大きな違いがあることが国の税制として成り立つのか疑問です。不公平税制は抜本的に改善しなければならないでしょう。今後、精販が連携してこの根本的な課題を検証し、理論武装したうえで、一緒に声を上げていくべきだと考えています。

木村　道路の維持・補修などの社会的費用は、すべての自動車ユーザーが公平に負担すべきで、課税の公平性の確保が必要です。消費税引き上げが予定されている中、石油諸税のさらなる増税や大型炭素税などの新税創設には今後も断固反対です。

現在、国内のEV等の普及台数は20万台弱ですが、日本エネルギー経済研究所の試算によれば、今後、世界的にEV等が急速に普及したとしても「石油消費は容易には減少しない可能性がある」との見解が示されています。世界的にみれば、今後も一次エネルギー需要は増加が見込まれており、石油需要のウエイトは低下したとしても、ボリュームは急激に減少しないという見方を裏付けるものです。ただし、EV等が普及するか否かは最終的には消費者の選択の結果であるため、精製元売としては総合エネルギー産業化を一層進める一方、SSでは、総合エネルギーステーションとして、石油だけでなく、電気や水素も取り扱うことも一つの選択肢になると思います。

森▼手を携え供給網維持・強化へ

Q　災害対応力の強化について

木村　東日本大震災の教訓を踏まえつつ、首都直下地震・南海トラフ巨大地震の発生に備え、業界を挙げて系列BCPの策定など、サプライチェーン強靭化に向けたハード・ソフト両面での取り組みをしっかりと進めているところです。先の熊本地震では、こうした成果によって、安定的な石油供給を実施できたと自負しています。

森　災害対応力の強化については、中核SS約1600ヵ所、小口燃料配送拠点約500ヵ所が設けられ、その実効性を担保するため、資源エネルギー庁は「災害時情報収集システム」の稼働訓練を実施しました。また、自家発電機を配備した「住民拠点SS」の設置を19年度を目途に全国8千ヵ所まで拡大する計画が進んでいます。全石連では9月1日「防災の日」、および東日本大震災が発生した3月11日の前後で年2回、災害対応訓練として自家発電機の稼働訓練を呼びかけています。いつ起きても不思議でない首都直下地震や南海トラフ地震などへの備えを強化したいと思います。

『満タン運動』業界挙げて

Q　災害対応力の強化について

木村　東日本大震災の教訓を踏まえつつ、首都直下地震・南海トラフ巨大地震の発生に備え、業界を挙げて系列BCPの策定など、サプライチェーン強靭化に向けたハード・ソフト両面での取り組みをしっかりと進めているところです。先の熊本地震では、こうした成果によって、安定的な石油供給を実施できたと自負しています。

森　災害対応力の強化については、中核SS約1600ヵ所、小口燃料配送拠点約500ヵ所が設けられ、その実効性を担保するため、資源エネルギー庁は「災害時情報収集システム」の稼働訓練を実施しました。また、自家発電機を配備した「住民拠点SS」の設置を19年度を目途に全国8千ヵ所まで拡大する計画が進んでいます。全石連では9月1日「防災の日」、および東日本大震災が発生した3月11日の前後で年2回、災害対応訓練として自家発電機の稼働訓練を呼びかけています。特に熊本県は県庁の公用車などを平時から満タンにする旨を公式に決定・発表しました。精販共同で行う活動は非常に意義深いと認識しています。木村会長には定例記者会見などの場でもPRいただくなど、石油連盟・元売各社もあらゆる機会を通じて満タン運動をアピールいただいており、基幹産業としての石油の存在意義が着実に社会へ浸透していると手応えを感じています。来年度以降もこの運動がさらに発展していくため、一層のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いします。

全石連・石連トップ対談

日本は地震が多く、自然災害も頻発しています。EVが広く普及するか疑問も残りますが、その動向は注視していかなければなりません。

Q　『満タン&灯油プラス1缶運動』について

木村　災害時の燃料供給の面でいうと、燃料を使う人の近くに燃料があることが極めて重要で、これを突き詰め、消費者一人ひとりが足元に備蓄するという発想がこの運動だと認識しています。石油連盟では、2千台以上のタンクローリーに「満タンで安心、灯油プラス1缶で安心」のステッカーを貼り、PRを行っています。引き続き「石油の力。」を訴えながら、エネルギー供給の「最後の砦」として社会に貢献していきます。

森　満タン運動には組合員約2・3万SSが参加しているほか、多くの自治体においてもサポート・PRに協力いただいています。特に熊本県には県庁の公用車などを平時から満タンにする旨を公式に決定・発表しました。精販共同で行う活動は非常に意義深いと認識しています。木村会長には定例記者会見などの場でもPRいただくなど、石油連盟・元売各社もあらゆる機会を通じて満タン運動をアピールいただいており、基幹産業としての石油の存在意義が着実に社会へ浸透していると手応えを感じています。来年度以降もこの運動がさらに発展していくため、一層のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いします。

市場堅調、穏やかな年明け

今週の市況　ガソリン　1月第1週

◎北海道…札幌は昨年11月第4週以降セルフ139円程度、フル140～2円、安値量販セルフ137・8円表示のままで、安定した新年を迎えた。

◎東北…全域で横ばい基調続く。セルフ価格は、仙台で133～6円、盛岡は132～6円、山形市は132～144円、秋田市は137円前後中心、福島市は144円前後中心、青森市は127～137円。

◎信越…新潟は新潟市内で137円前後中心、上越や長岡市内でセルフ131～5円、柏崎125～137円で横ばい。

◎北関東…前橋・高崎はセルフ137～9円。宇都宮はセルフ134～6円、国道50号沿線で136円前後。茨城は135～9円中心で推移している。

◎首都圏…埼玉は県央部セルフ131～7円、東部・西部131～5円。千葉は133円以上が主流。都内の主要幹線沿いは年末年始もほぼ動きがなく、130円台半ば以上が目立つ。

◎山静…静岡は静岡市内がセルフ134～7円、PB130円で、県東部133～6円、西部135円前後。山梨はセルフ会員で134～9円中心。

◎東海…横ばい。年末から大きな変動はなくほぼ135～141円で推移している。愛知は年明けに一部で1～2円軟化も見られたが、追随はほとんどなく137円前後。常滑のコストコ123円、PBバロンパークは会員123・9円、現金125・9円も変わらず。三重は横ばいでクイックピットなどPBで126～9円が残るが、全体では135～8円が続く。岐阜も138～143円で横ばい。

◎北陸…福井でPBライズ5店舗を買収したカナショク（オカモトグループ）が126円のまま年越し。近隣PBなどと競い合っているが、系列の大半は140円前後。石川、富山のカナショクは132～8円だが、両県とも大勢は140円前後で大きな変化はない。

◎近畿…阪神方面・京阪方面ともに横ばいで139～141円程度。京都は139～141円、滋賀は140～2円、奈良はセルフで134～6円中心だが、一部で128～130円に値下げしたSSも。和歌山市内は量販セルフPB129～131円、系列は136～141円。

◎中国…岡山県は一部を除き139円中心で横ばい。12月下旬に1円程度上昇した山口市内は139～141円前後、同様の宇部市内は138円中心。米子市内は136～7円中心で横ばい。

◎四国…12月下旬に3円程度上昇した徳島市内は140円前後中心。高松市内は140円前後、高知市内は144円前後中心でいずれも横ばい。

◎九州…年末から年始にかけてもほぼ安定。福岡市内の中心部は140～2円が多く、郊外も139～141円。大分、長崎県内はこれを上回るレベルが続いている。熊本県、宮崎県内も低価格地域は点在しているものの、全般的には収益確保の姿勢を保っている。

今週のガソリン小売市況概況（1月1週）

	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	￥140	￥140	*札幌市・地場・系列*
北東北	￥137	￥137	秋田市・広域・系列
南東北	￥139	￥139	*仙台市・広域・系列*
信越	￥137	￥137	新潟市・地場・系列
北関東	￥132	￥132	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	￥130	￥130	千葉市・異業種・PB
山静	￥137	￥137	*静岡市・広域・系列*
東海	￥134	￥134	鈴鹿市・広域・系列
北陸	￥135	￥135	福井市・地場・系列
京阪	￥138	￥139	大東市・子会社・系列
阪神	￥141	￥141	神戸市・地場・系列
山陽	￥139	￥139	岡山市・地場・系列
山陰	￥138	￥138	*米子市・地場・系列*
四国	￥144	￥144	*高松市・地場・系列*
九州北	￥140	￥140	*福岡市・地場・系列*
九州中	￥139	￥139	熊本市・広域・PB
九州南	￥141	￥141	宮崎市・地場・PB

2週連続上昇 G平均141・7円

エネ庁週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（12月25日・消費税込み）レギュラー全国平均は0・2円高の141・7円と、2週連続で上昇した（累計0・3円高）。

地域別では0・9円高の山梨、0・8円高の三重と長崎、0・5円高の岩手、愛知、大阪など27府県で値上がり。0・4円安の鹿児島、0・3円安の群馬、京都、香川など11都道府県で値下がりし、9県は横ばいだった。

ハイオクは0・1円高の152・4円。軽油も0・1円高の119・6円。

灯油は18㍑店頭が4円高の1520円、配達が3円高の1664円。

11月ガソリン 内需0.9％減

石油統計速報

資源エネルギー庁が12月28日に発表した11月石油統計速報によると、内需は軽油が堅調に推移したものの、ガソリン、灯油などの需要不振やC重油の大幅減などが響き、前年同期比3・0％減の1511万㌔㍑に落ち込んだ。

ガソリンは0・9％減の426万㌔㍑と4ヵ月連続で前月を下回った。

軽油は1・9％増の293万㌔㍑、灯油は0・7％減の176万㌔㍑と3ヵ月ぶりに前月を下回った。

12月上旬原油 CIF㌦43円弱

財務省

財務省が12月27日に発表した12月上旬の原油CIF価格は、㌦建てが前月比4・05㌦高のバレル60・83㌦と、4ヵ月連続で前月を上回った。

円建ては原油価格が上昇したものの、為替が㌦112・31円と円高で推移したため、値上がり幅は若干縮小し、2518円高の㌔㍑4万2974円と4ヵ月連続で前月を上回った。

多量配達灯油 平均0・47円高

札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が12月25日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は㍑85・68円となり、同月8日の調査から0・47円値上がりした。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし22店）の最多価格は85円（26店）。最低は75円（1店）、最高は93円（2店）。

ガソリン（現金）はフルが1円安の141円で、セルフが139円で変わらず。

同じく軽油は124円、122円でいずれも横ばい。

11月ガソリン卸 3.2円高116・3円

エネ庁

資源エネルギー庁が12月28日に公表した11月の卸価格調査結果（消費税別）によると、前月比でレギュラーは3・2円値上がりして116・3円となった。

軽油は3・6円高の61・7円、灯油は4・5円高の63・9円。

また11月の全国平均インタンク価格は、軽油が3・9円高の98・3円、A重油は大口が3・5円高の64・5円、小口が3・4円高の72・2円だった。

コスモ仕切り 全油種据え置き

コスモ石油マーケティングは5日からの先行指標を通知した。特約店筋によると、前週比で全油種とも据え置いた。

据え置きは全油種で2週連続となる。

次号（8日付）休刊

『満タン運動』市民周知を

堺市にPR活動協力要請

大阪

満タンPRへの協働を確認した（左から綾田、安井、竹山、宮口の各氏）

【堺】大阪石商・協（安井一男理事長）と大阪府石油政治連盟（綾田學会長）は先ごろ、堺市役所を訪問し、『満タン&灯油プラス1缶運動』に対する協力を要請した。

これに対し、市はポスター掲示などで積極的に協力する意向を示した。

今回の訪問には、同石商から安井理事長、府油政連から綾田会長と宮口陽司彦副会長が参加。堺市からは竹山修身市長ら幹部が応対した。

安井理事長は、東日本大震災発生後、大多数の消費者がSSに殺到したことを解説。これ以降、中核SSや小口配送拠点、住民拠点SSを配備するなど、業界挙げて「災害が発生しても安定供給可能な体制を整備している」と訴えた。

宮口副会長は「消費者には満タン運動についてSSの金儲けと誤解される恐れがあるが、災害に備えた活動であることをきちんと説明すると、理解してくれる」と述べ、市の協力を要請した。

市側は運動の趣旨に理解を示し、市内の全区役所で15日から1ヵ月間、同運動のポスター掲示を実施することを確約。さらに市の広報紙用の写真撮影も行った。

同石商・油政連では今後も、『満タン運動』の要請活動を積極的に行い、運動の定着を図っていく方針だ。

『灯油まつり』が閉幕

最終日まで全力アピール

長野

【大町＝長野】長野石協（渡邊一正理事長）の『灯油まつり～灯油でほかほかキャンペーン2017』が昨年12月20日で終了した。暖房エネルギーとしての灯油を強くアピールすることを通じ、〝灯油復権〟を後押しした。

最終日の20日も参加組合員SSでは様々な工夫で、消費者にキャンペーンへの参加を呼びかけていた。大町シェル石油不二塚SSは独自作成したディスプレイなどを使い、「締切は20日です。ストーブを当ててください」とPR、最後まで力を入れた。

同イベントは3年計画で行っており、今回は第2弾で、組合員159社が参加（参加率52％）。支部別の参加状況は北信38社（50％）、上小11社（61％）、佐久17社（45％）、中信36社（51％）、木曽10社（67％）、諏訪17社（59％）、上伊那16社（64％）、飯田14社（42％）だった。

赤尾幸市氏（元全国石油協会副会長、元群馬石商・協理事長、赤尾商事会長・出光系）11月27日死去、93歳。葬儀は近親者で行われた。

「お別れの会」を今月24日午後1時より、下之城プリエッセ（高崎市下之城町650、電話＝027－325－4333）で執り行う。

赤尾氏は1989年5月～95年5月まで群馬石商・協理事長、94年5月～96年5月まで全国石油協会副会長を務めた。

外間宏氏（元沖縄石商・協理事長、旧丸宏石油会長・出光系）12月24日死去、91歳。告別式は26日に那覇市内で執り行われた。喪主は長男の宏正氏。

外間氏は1985年5月～93年5月まで同石商・協理事長、88年5月～93年5月まで全国石油協会理事を務めた。

長山洋二氏（神奈川石商・協理事、同神奈川支部副支部長、新生商事代表取締役・JXTG系）　12月25日死去、65歳。告別式は30日に横浜市内で執り行われた。喪主は妻の恭子さん。

野口とみこさん（野口春幸宮城県石油政治連盟会長、同石商・協副理事長、野口石油会長の母＝コスモ系）3日死去、97歳。通夜は5日午後6時から、お別れの儀は6日午前9時15分から、葬儀告別式は同日午後12時30分より、ともにセレモニーホール山月（栗原市築館字下宮野砂田191、電話＝0228－22－6644）で執り行われる。喪主は長男の春幸氏。

JASEA

一般社団法人 日本自動車機械工具協会

会長 柳田昌宏

副会長 大山喜佐男

〒160-0022 東京都新宿区新宿七丁目二三番五号

電話 〇三（三二〇三）五一二一（代表）

FAX 〇三（三二〇八）二二一五七

来週の指針

1月8日～14日　強運日＝8、9、12　吉方位＝東、西

運命アドバイザー　北 秀一

1月生	情勢まずまずで前途明るい。自信持って取組み結果吉。愛情強い。
2月生	運気安定し見通し明るい。情勢まずまずで期待できる。金運安定。
3月生	好不調の波あるが前途有望。無理せず冷静に取り組め。愛情普通。
4月生	運気安定してチャンスある。自信持って行動し結果吉。金運強い。
5月生	情勢不安定で落ち着かない。軽率な行動は慎もう。愛情まずまず。
6月生	運気に波あるが前途明るい。ただし軽率な行動は禁物。金運普通。
7月生	情勢まずまずで期待できる。自信持って行動し結果吉。愛情普通。
8月生	運気に波あり見通し不安定。現状では軽率な行動禁物。金運普通。
9月生	情勢落ち着かず不安定だ。軽率な行動は慎むこと。愛情運も弱い。
10月生	運気不安定だがチャンスある。あせらず冷静に行動だ。金運普通。
11月生	情勢に波あり落ち着かない。軽率な行動は慎もう。愛情も不安定。
12月生	運気まずまずで好機ある。冷静に行動し結果プラス。金運は普通。

月生早見表

1月生＝1月5日～2月3日まで
2月生＝2月4日～3月4日まで
3月生＝3月5日～4月4日まで
4月生＝4月5日～5月4日まで
5月生＝5月5日～6月4日まで
6月生＝6月5日～7月6日まで
7月生＝7月7日～8月6日まで
8月生＝8月7日～9月6日まで
9月生＝9月7日～10月7日まで
10月生＝10月8日～11月6日まで
11月生＝11月7日～12月6日まで
12月生＝12月7日～1月4日まで

DATAコーナー

■石油先物市場・1／4

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）　中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

東京 14：30現在	前日比	限月	中京 14：30現在	前日比
（前日出来高2,482枚）		**ガソリン**	（前日出来高4枚）	
59,780	△730	②限月	－	－
60,130	△520	③限月	－	－
60,550	△720	④限月	60,000	△2,000
60,950	△700	⑤限月	－	－
61,400	△720	⑥限月	60,500	△2,000
61,530	△680	⑦限月	－	－
（前日出来高1,049枚）		**灯油**	（前日出来高－枚）	
62,920	△760	②限月	－	－
62,330	△840	③限月	－	－
61,340	△810	④限月	－	－
60,300	△770	⑤限月	－	－
59,950	△750	⑥限月	－	－
60,020	△750	⑦限月	－	－
（前日出来高－枚）		**軽油**		
－	－	②限月		
－	－	③限月		
－	－	④限月		
－	－	⑤限月		
－	－	⑥限月		
－	－	⑦限月		

原油指標

	単位	値	前日比
国内指標	＄／B	64.10	(▲0.16)
国内指標	￥／KL	45,859	(▲111)
WTI	＄／B	61.63	(△1.26)
WTI	￥／KL	44,095	(△902)

■SS店頭市況週動向調査・12／25

レギュラー（単位：￥／L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

県	価格	動向	県	価格	動向	県	価格	動向
北海道	142.4	↓	静岡	141.5	↑	鳥取	138.4	→
青森	140.5	↓	山梨	141.0	↑	島根	143.7	↑
岩手	138.5	↑	愛知	140.4	↑	山口	142.1	↑
宮城	138.6	↑	三重	140.9	↑	徳島	138.8	→
福島	142.0	↑	岐阜	143.4	→	高知	144.1	↓
秋田	139.6	→	富山	141.8	↑	愛媛	141.8	↑
山形	141.8	↑	石川	143.4	↓	香川	141.0	↓
新潟	140.7	↑	福井	142.1	↑	福岡	141.6	↓
長野	143.6	↑	滋賀	142.0	→	大分	145.2	→
群馬	140.7	↓	京都	145.1	↓	佐賀	144.0	→
栃木	139.8	↑	大阪	141.8	↑	長崎	148.8	↑
茨城	139.8	↑	奈良	140.6	↑	熊本	143.2	↑
千葉	137.5	↑	和歌山	140.0	↑	宮崎	142.3	↑
埼玉	136.7	→	兵庫	140.4	↑	鹿児島	147.5	↓
東京	142.5	↓	岡山	138.3	→	沖縄	149.5	↑
神奈川	139.7	↓	広島	140.6	↑	全国	141.7	↑

灯油（店頭）（単位：￥／18L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

県	価格	動向	県	価格	動向	県	価格	動向
北海道	1,551	↑	静岡	1,561	↑	鳥取	1,520	↑
青森	1,448	↑	山梨	1,495	↑	島根	1,597	→
岩手	1,419	↑	愛知	1,522	↑	山口	1,514	↑
宮城	1,419	↑	三重	1,518	↑	徳島	1,466	↓
福島	1,465	↑	岐阜	1,492	→	高知	1,542	↓
秋田	1,453	↑	富山	1,559	↑	愛媛	1,534	↑
山形	1,445	↓	石川	1,505	↑	香川	1,453	↑
新潟	1,546	↑	福井	1,543	→	福岡	1,473	↓
長野	1,494	↑	滋賀	1,537	↑	大分	1,545	↑
群馬	1,506	↑	京都	1,593	↑	佐賀	1,558	↑
栃木	1,503	↑	大阪	1,492	↑	長崎	1,615	↑
茨城	1,461	↑	奈良	1,466	↑	熊本	1,502	↑
千葉	1,488	↑	和歌山	1,490	↑	宮崎	1,565	↑
埼玉	1,463	↓	兵庫	1,475	↑	鹿児島	1,655	↓
東京	1,668	↓	岡山	1,450	↓	沖縄	1,831	↓
神奈川	1,551	↓	広島	1,514	↑	全国	1,520	↑

■国内供給統計（石連週報）・12月第4週末

（単位：千KL、％）

	東日本	西日本	合計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	2,429.9	1,397.6	3,827.5	101.7%	105.2%	95.0%
②製油所稼働率	98.9	95.7	97.7	1.6	4.8	2.2
③石油製品在庫量						
ガソリン	812.9	789.8	1,602.6	95.5%	94.3%	96.9%
灯油	1,636.2	642.5	2,278.7	95.3%	85.6%	105.5%
軽油	846.3	652.2	1,498.5	106.1%	107.9%	105.5%
A重油	385.1	283.0	668.1	100.3%	99.4%	90.6%
6油種計	5,458.1	3,475.9	8,934.0	97.8%	94.6%	103.2%
④製品出荷量推計						
ガソリン	653.8	358.9	1012.7	109.8%	104.7%	92.7%
灯油	318.5	197.2	515.7	101.9%	258.1%	104.8%
軽油	454.0	235.7	689.8	105.8%	105.8%	93.8%
A重油	182.1	113.7	295.9	108.6%	142.1%	100.8%
6油種計	1,748.9	1142.5	2,891.3	107.2%	128.6%	97.3%

■石油統計速報・11月

（単位：千KL、％）

	ガソリン	灯油	軽油	A重油	7油種計
月初在庫	1,586	2,686	1,476	716	10,320
生産	4,551	1,546	3,462	1,069	14,828
前年比	104.6	113.5	100.2	99.5	100.1
輸入	111	74	40	5	2,874
前年比	918.4	512.0	62.4	－	108.6
販売	4,257	1,760	2,927	1,020	15,108
前年比	99.1	99.3	101.9	96.0	97.0
月末在庫	1,746	2,467	1,402	650	10,187
前年比	115.5	111.7	91.3	89.6	104.9

■県別SS卸価格調査・11月

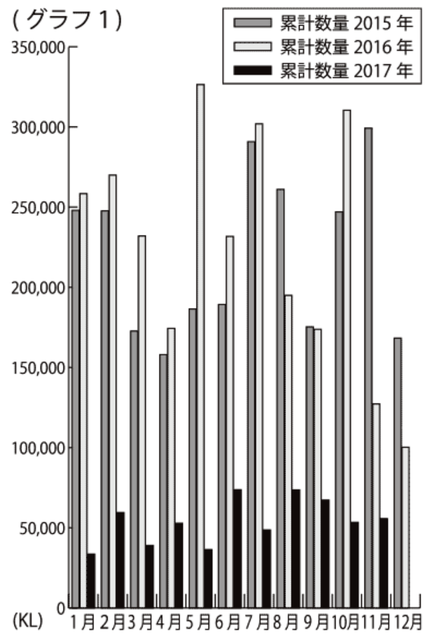
（単位：￥／L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

県	レギュラー		軽油		灯油		県	レギュラー		軽油		灯油	
北海道	116.4	↑	61.5	↑	63.0	↑	滋賀	115.9	↑	61.5	↑	63.8	↑
青森	116.8	↑	61.9	↑	63.7	↑	京都	116.1	↑	61.1	↑	63.6	↑
岩手	116.8	↑	61.8	↑	64.0	↑	奈良	115.8	↑	61.1	↑	63.4	↑
宮城	116.1	↑	61.8	↑	63.2	↑	大阪	115.3	↑	60.5	↑	62.9	↑
秋田	117.3	↑	62.7	↑	64.3	↑	兵庫	116.1	↑	61.5	↑	63.7	↑
山形	116.8	↑	61.4	↑	63.6	↑	和歌山	115.9	↑	61.1	↑	63.5	↑
福島	116.2	↑	61.9	↑	63.8	↑	鳥取	116.7	↑	62.2	↑	64.6	↑
茨城	116.8	↑	62.5	↑	64.4	↑	島根	116.4	↑	62.1	↑	64.0	↑
栃木	117.2	↑	62.5	↑	64.1	↑	岡山	115.7	↑	60.9	↑	63.1	↑
群馬	117.0	↑	62.6	↑	64.4	↑	広島	116.1	↑	61.4	↑	63.8	↑
埼玉	115.7	↑	60.9	↑	63.4	↑	山口	115.3	↑	60.7	↑	63.2	↑
千葉	115.6	↑	61.2	↑	63.1	↑	徳島	117.0	↑	62.5	↑	65.1	↑
東京	115.7	↑	60.7	↑	63.4	↑	香川	116.1	↑	61.1	↑	63.8	↑
神奈川	115.2	↑	60.6	↑	63.4	↑	愛媛	115.5	↑	60.8	↑	63.3	↑
新潟	117.1	↑	62.3	↑	64.2	↑	高知	116.7	↑	61.9	↑	64.0	↑
長野	117.7	↑	63.3	↑	65.2	↑	福岡	116.2	↑	61.9	↑	64.0	↑
山梨	117.5	↑	63.4	↑	65.7	↑	佐賀	116.7	↑	62.4	↑	64.6	↑
静岡	116.5	↑	62.1	↑	64.8	↑	長崎	117.4	↑	62.8	↑	65.5	↑
愛知	115.2	↑	60.6	↑	63.1	↑	熊本	117.0	↑	61.7	↑	64.7	↑
岐阜	116.1	↑	61.5	↑	63.7	↑	大分	116.1	↑	61.5	↑	63.5	↑
三重	115.6	↑	61.2	↑	63.8	↑	宮崎	116.5	↑	62.2	↑	64.2	↑
富山	116.8	↑	61.9	↑	64.0	↑	鹿児島	117.0	↑	62.3	↑	64.8	↑
石川	117.0	↑	62.5	↑	64.7	↑	沖縄	114.5	↑	65.6	↑	66.8	↑
福井	117.0	↑	62.2	↑	64.6	↑	全国	116.3	↑	61.7	↑	63.9	↑

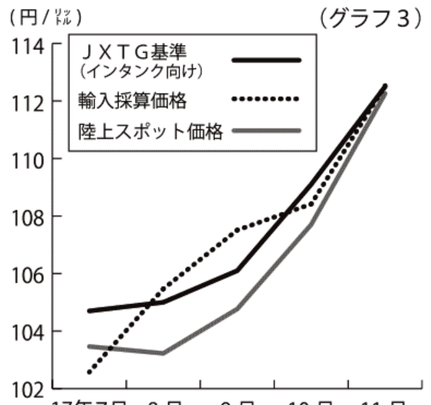
元売再編で業界新時代へ

企画特集

（グラフ１）



（グラフ３）



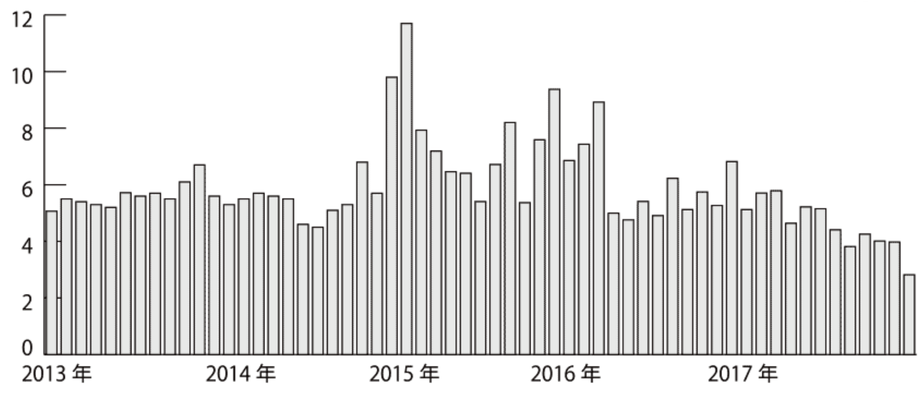
２０１８年が始まった。昨年は業界が激動期を終焉させ新たな秩序を生み出すべく本格的に稼働を始めた振り出しの１年だった。国のエネルギー供給構造高度化法２次告示に対応するとともに、最終章という元売再編が始まったことで市場環境は大きく変貌した。特に卸市場の変化は著しく、外販玉を放出していた外資系元売が消えていく中、スポット市場は大きく縮小し、それに伴い、いわゆる業転格差も縮まった。ただ、そうした中、一昨年までは盛んに議論されていた公正・公平な卸価格指標の確立という課題も雲散霧消しつつある。ガソリンを中心にスポット市場とそれにまつわる情勢や課題を探ってみた。

激減するＪＯＸ取引

昨年12月、年末恒例のＪＯＸパーティーが港区六本木で開催され、商社など関係者約１００人が集まった。ＪＯＸとは元売、大手商社などで作る石油製品のスポット市場のこと。国内においてスポット取引が活性化しない中、唯一このＪＯＸ市場は成功事例とされてきた。そんなＪＯＸ市場にも変化が起きている。ＪＯＸパーティーもこれまでと比べ元売担当者の数が少なく、最大手ＪＸＴＧエネルギー担当者の顔も見られなかった。

今年に入りＪＯＸ市場の取引数量（グラフ１）は激減している。２０１７年（１～１１月）の取引数量は全油種合計で前年比77％減の59万３６１６キロリットルに落ち込み、市場規模は一気に４分の１まで縮小した。ＪＯＸ取引の主力商品は京浜ガソリン・海上市場だが、その数量に至っては前年比81％減の20万３８００キロリットルまで減少している。

（グラフ２）　業転格差の推移（2013 年 1 月～ 2017 年 11 月）　(円/リットル)



昨年４月のＪＸＴＧエネルギーの発足以降、スポット市場の縮小がいわれる。ただ、スポット市場の実態は統計資料もなくわかりにくい。ある意味、このＪＯＸ市場の取引数量の推移が唯一、スポット取引の増減を定量的に把握させるものといえ、それから想定すると、国内のスポット市場はわずか１年間で４分の１まで縮まったと判断できる。昨年12月には「旧ＴＧ外販玉の大幅減がさらに進んでいる」（商社筋）とされ、スポット市場の縮小はまだ底を打ってはいない感がある。

ＪＯＸパーティーのある参加者は「原油が上がろうが、全般的にスポット玉と系列玉の値差がないので、売買は盛り上がらない。特にガソリンが顕著で、18年は撤退する卸業者が増えることは必至」との見方を示す。

元売の健全化が先行

元売各社の２０１７年度中間決算が好決算であったことは本紙でも既報済み。精製・販売両業界の経営健全化が重要とされる昨今だが、足元をみれば、精製元売が健全化に大きく先行している格好だ。元売各社は４～９月において量販から質販へと本当に販売姿勢を変化させたのだろうか。上場４社の決算説明資料をみると、４社合計（４～９月）のガソリン販売数量は前年比２・８％減の２５２３万キロリットルに落ち込んでいる。各社別（表）は温度差があるが、最大手ＪＸＴＧエネと出光興産という精製元売のリーダー２社はこの半年、抑え気味の販売姿勢だったことがわかる。特にＪＸＴＧエネは５％の大幅減。ただ、これについては「旧東燃ゼネラル石油（ＴＧ）系の外販玉が大きく引き締められたための減販」（商社）との見方がある。

実際、直近までの４社のガソリン販売数量（４～１１月）について各方面をヒアリングすると、外販玉を入れた総販売数量は前年比３％減の水準とみられる一方で、ＳＳスルーといわれる系列販売は０・９％減程度の減販にとどまったと推測される。この傾向はＪＸＴＧエネ単独でも同じで総販売量は５％減と大きく落ち込む一方、系列販売は１％程度の減少で収まっているとみられる。

業転格差の縮小と外販玉の削減が同時並行で起こったため、販売業界において系列回帰が急速に進んだ。その系列回帰がＳＳスルーの系列販売を下支えしたとみられる。「ガソリンが顕著だが、現在の販売数量の減少は外販玉によって水ぶくれしていた元売の販売数量が本来あるべき身の丈の数量に戻っているだけ」（商社）という見方もされている。

元売４社のガソリン販売量（万KL）

	2017年	
	4～9月	前年比
JXTG	1,396	-5.0%
出光	405	-1.0%
昭シェル	442	0.3%
コスモ	280	1.2%
4社計	2,523	-2.8%

伊藤忠エネクスが昨年11月に明らかにした２０１７年度中間決算（４～９月）の参考資料では、ガソリン販売量は前年比16％減の１６６万キロリットルと大幅減少。その減少分のほとんどは「元売間などで取引していた需給調整玉が減ったため」と説明している。

卸指標への関心消失

ガソリンなどの卸価格指標を巡る環境も一変した。１年前を振り返ると、既存の価格指標であるリム指標（提供会社：リム情報開発）に対して、元売を中心に不満が高まる一方で、米国からプラッツ指標（Ｓ＆Ｐグローバルプラッツ）、ＯＰＩＳ指標（ＯＰＩＳ）が相次いで参入するという現象が起こっていた。昨年１月には国内最大の先物取引所・東京商品取引所が国内初の公的スポット市場ＴＯＣＯＭウインドウを開設させてもいる。

それからわずか１年。大きく様変わりし、卸価格指標に対する関心は消失している。３指標のうち、すでにＯＰＩＳ指標は国内撤退し、プラッツ指標も浸透せず、特に販売業界の認知度は低い。ＴＯＣＯＭウインドウも苦戦、11月は陸上の取引件数がなしという状態で、取引の厚みが薄いまま、価格発信・機能を発揮していない。リムについても元売各社の信頼が高まらない中、リム指標とＪＸＴＧ基準仕切り値差が縮まり、「独自性が薄まった」（商社）という見方が広がる。

一方、そうした中、卸市場の中で存在感を増しているのが、７月にスタートしたＪＸＴＧ基準仕切価格である。理由は２つで、１つ目は事後調整なしを貫いているため、旧ＪＸ先行指標より指標性が高まった。数量インセンティブや取引状況などを除くと、全国的に一律の価格水準（12月５週の場合、ガソリンＳＳ届け＝１１５・８円、インタンク向け１１４・３円）が示されてもいる。ＪＸＴＧ基準仕切りは「いわゆるブランド料加算」とブランド料なしで「供給コストのみ加算」という２つの仕切りが推定できる。かつて、旧ＥＭＧ・ＷＰＳが系列卸のベンチマーク化した時期があったが、ＪＸＴＧ基準仕切りは系列卸とスポット市場の両方でベンチマーク化している。２つ目は信頼性の高いスポット価格の指標が依然、確立していないためである。

こうした状況について、「実際、ＪＸＴＧの外販玉はインタンク向け価格でしか仕入れできない」（商社）、「プラッツによる指標確立を期待するが、ＪＸＴＧ基準仕切りで安定しているならそれを崩す必要はない」（元売）、「リム指標リンクの継続に不安がある中、ＪＸＴＧ基準リンクという取引を開発しても良い」（燃料商社筋）などの声がある。

「ＪＸＴＧの基準仕切りが市場の中で指標化するなら、その売値をＴＯＣＯＭウインドウに出してほしい。市場機能を活用することで、基準仕切りの公的化が進むはず。これまでスポット市場などに元売が買いに入ることはあったが、商社が売って元売が買うというパターンが常態化するのは不自然。本来は元売がしっかりした売値を市場に示し、スポット市場が構築されるのが望ましい」（先物市場関係者）と投げかける意見もある。

消えた〝負の連鎖〟

これまでを振り返ると、スポット市場の取引が停滞すると、行き場を失ったスポット玉の価格が急降下するのがパターンだった。特に陸上スポット価格が急落すると、それに引っ張られる格好で系列仕切りも値下がりする〝負の連鎖〟を招いていた。中には下落する陸上スポットを系列仕切りに反映しない元売もあったが、そうした元売も最終的には陸上スポット価格と系列仕切りの値差を埋めるため、事後調整を行うケースがほとんどだった。

ところが昨年４月以降そうした〝負の連鎖〟は一変している。２０１３年以降、５年間のいわゆるガソリン業転格差（※）の推移はグラフ２の通り。５年間平均の業転格差は５・９円と試算されるが、昨年４月以降をみると、４月＝５・２円、５月＝５・２円、６月＝４・４円、７月＝３・８円、８月＝４・３円、９月＝４円、10月＝４円、11月＝２・８円でいずれも格差は低水準。

さらに詳細にみると格差縮小の傾向は３段階に分かれる。１つ目はＪＸＴＧエネが誕生した４月以降で、４～６月の格差平均は４・９円となる。２つ目がＪＸＴＧエネが旧ＪＸ先行指標と旧ＥＭＧ系列仕切り（ＷＰＳ）を統合して、基準仕切りを導入した７月以降である。ＪＸＴＧ基準仕切りは「事後調整なし」としており、さらなる業転格差の縮小につながった。推計すると７～10月の格差平均は４円まで縮まった。

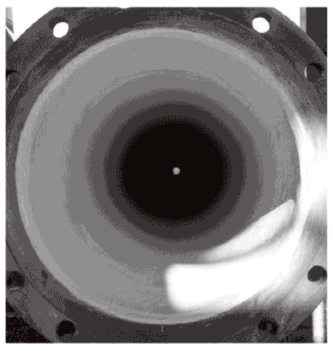
そして、３つ目が11月以降、ＪＸＴＧエネに続く格好で、昭和シェル石油が事後調整なしの仕切り体系に移行したことで、これに伴い、11月平均の業転格差は２・８円で５年間で最低の水準まで圧縮された。実際、７月以降のＪＸＴＧ基準仕切りと陸上スポット価格などを比較（グラフ３）すると、11月に向かい価格水準は大きく収れんしていることがわかる。

※資源エネルギー庁発表のガソリン卸価格調査の全国平均価格を一般的な特約店仕切りの平均値とし、そこから現物指標の平均値（配送料１・５円加算）を引いて試算したもの。

謹賀新年

常時監視と常時管理

配管ライニング

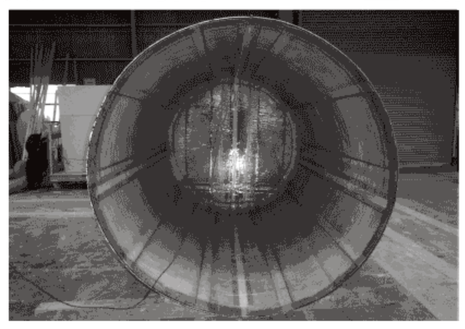


特許出願 2017-059265
実用新案 第3210606号

漏洩検知装置付き樹脂二重殻配管

特　許　第4421711号　特　許　第6120431号　特許出願 2014-176033　特許出願 2014-235598
特許出願 2015-115624　特許出願 2015-213877　特許出願 2016-029607　特許出願 2017-045796
実用新案 第3183085号　実用新案 第3195379号　実用新案 第3204958号　実用新案 第3209440号

鋼製タンク内面ＦＲＰ二重殻構造



特　許　第3594183号　特　許　第6134128号　特許出願 2015-098922
特許出願 2016-029607　特許出願 2017-045796　実用新案 第3196696号
実用新案 第3199105号　実用新案 第3204958号　実用新案 第3209440号

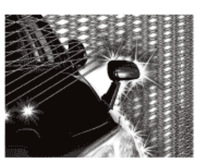
環境づくりのトータルプランナー　株式会社サンフロイント
東京都文京区本郷1丁目20番3号　電話：03-3818-7868
E-mail：info@sanfreund.co.jp　Fax：03-3818-7846

1度の工程で「洗浄」と「乾燥」を同時に処理する『1WAY洗車』(0.5往復洗車)。
それは、ランニングコストを抑え、時間当たりの洗車台数を伸ばせる、ドライブスルー洗車の理想形。

MK

1WAY洗車を極める　I-MEX FACADE
NEW ドライブスルー洗車機 ファサード [XL-902]

限界を突破し、新次元の洗い上がりへ。ファサードは、3Dスキャンとハイパーソニックスキャンの2つのスキャニングシステムを搭載し、正確無比な車形認識力で1WAY洗車のクオリティを極限まで追求。業界最速の洗車速度で圧倒的な美しさを実現しました。さらに、1WAY洗車による洗車時間の短縮により、ガラス系コーティング「ティアラコート」をはじめとする高単価メニューへの対応力を一層高めて、総体的に洗車収益の向上に貢献します。


3Dスキャン

ハイパーソニックスキャン

ティアラコートプレミアム

エムケー精工株式会社　〒389-1313 長野県上水内郡信濃町古間1618　TEL.026（255）6011（代）　http://www.mkseiko.co.jp

コストコ、大阪に上陸

世界各国で744（2017年11月時点）もの店舗を展開する会員制倉庫型小売店・コストコホールセールの併設ＳＳが、ついに大阪市場に上陸した。国内の店舗にＳＳを初めて併設してから２年以上が経過。いずれの地域でも巨大資本を背景にしたガソリンや灯軽油の量販施策は周辺の地場ＳＳ業者を悩ませている。他県では、公正取引委員会への不当廉売調査依頼申告を度重ねて行わざるを得ないケースも出るなど、その影響は深刻。大阪市場でも乱売戦を恐れて、周辺部は絶えずその動向を注視している状況にある。この脅威は大阪だけにとどまらず、兵庫など他の地域にも飛び火する恐れが高まっている。ＳＳ進出決定から直近までの状況を振り返ってみた。

店内でＳＳ建設を告知するコストコ和泉倉庫店

経緯　既存店舗駐車場を改装　関西エリア初の拠点

会員制倉庫型スーパー・コストコホールセールの関西ＳＳ第1号が建設されることとなったのは、府南部の泉北地域を拠点とする和泉倉庫店。５月下旬に店内では垂れ幕で告知を開始した。

すでに進出した東北や関東、中部方面のレギュラーガソリン市場で猛威を振るう〝黒船来訪〟の報に対し、地場業者たちは動揺を隠せないでいた。

ＳＳを山形で初出店して以降、府内でも進出予定の噂は各地で上がっては消えていたが、灯油のみ1円値下げし59円とした。元売各社の仕切価格上昇に合わせて少しずつ値上げをし、12月上旬の時点ではレギュラーガソリンが127円にまで上昇、130円台に乗りそうな勢いにある。現在までのところ、さほど大きな価格競争は起きていない印象だ。

和泉倉庫店は平野部ではなく山頂に位置し、近隣には大型ショッピングセンターが控えており、休日には数多くの来店客が殺到、通行制限が行われている。このため、ＳＳを建設したことでかえって駐車場が不足。ＳＳに入ることすら難しい状態にあるようで、近隣の販売店からは「給油が目的だと混雑を敬遠して、かえって人が寄らないのでは」と、その理由を分析する声も聞かれる。

同社のＳＳは、かみのやま（山形）、射水（富山）、岐阜羽島（岐阜）、中部空港（愛知）、富谷（宮城）、つくば（茨城）、浜松（静岡）、北九州（福岡県）、千葉ＮＴ（千葉）に次いで、和泉倉庫店で10ヵ所目となる。国内にＳＳを初進出してから、わずか2年半程度で全国に10ヵ所のＳＳを建設。北海道、中国に併設ＳＳはなく、四国では店舗すらない状態だが、仮に全国ネットワークが完成すると、圧倒的な脅威となることを危惧する声は多く、「コストコ1社の価格動向で市場が決まるのは健全といえないのではないか」など、問題視する声は徐々に高まりつつある。

価格　系列と格差縮小でなぜ？　県平均より常時10円安

グラフは10月23日～11月27日の間、資源エネルギー庁が毎週発表するＳＳ小売価格調査のうち大阪府と、コストコ和泉のレギュラーガソリン価格を比較したもの。

集計の結果、原油価格上昇の影響で販売単価はコストコと大阪府はともに上昇基調にある。時間の経過とともに少しずつ格差は縮小傾向にあるようにみえる。期間中の最大格差は10月23日の1㍑16・2円で、最少は11月20日の13・1円となっており、期間中の平均格差は14・6円と常時10円以上の価格差が存在していることが明らかとなっている。

ハイオクでは最大は10月30日の16・3円で、最少は11月20日の13・8円、期間中の平均格差は15・1円だ。

一方、灯油だと最大は10月30日の19・7円、最少は10月20日の14・5円、期間中の平均格差は16・9円。軽油の場合は時間の経過とともに格差が拡大する傾向にあり、最少は10月23日の18・0円で、最大は11月27日の22・4円、期間中の平均格差は20・3円と20円以上の格差がついており、販売している油種の中で格差は最大となっている。

系列回帰が進んでいるとされる現在、大阪府内ではＰＢでも130円以上の価格を掲示しているＳＳは数多い。府内の特約店社長は「業転屋から送られてくるＦＡＸを見ても、ＰＢと系列の仕切り格差は縮小している印象だが、どうしてこんな安値を出せるのか不思議だ」、「元売がどこかで安い玉を隠しているのではないか」など疑問視する声が上がる一方、「うかつに価格で対抗しようとすれば、自分の首を締めるだけ。無理して対抗しようとはしないで、しっかりと利益を確保していくのが最善だと思う」と強調する声も聞かれる。

オープンしたコストコ和泉ＳＳ

店舗　高時給でバイトも吸引　油外関連対応は手薄

コストコ和泉ＳＳはＳＳ業界にとって馴染みの深いタイヤや、ドライブレコーダーなど自動車関連の商材も多数販売しているが、取り付けには対応していない。また、近年ではタイヤにＴＰＭＳ（タイヤ・プレッシャー・モニター・システム）装着が急増しているように、自動車そのものがセンサーを搭載するなど高度化しているが、こうした動きには未対応の面がある。

また、車検や車販は実施していない。燃料油販売では圧倒的な価格差があり追随は困難だが、油外収益やきめ細かな接客対応では対抗する余地がありそうだ。全石連では人材育成事業としてＨＶやタイヤ研修、中古車販売などに取り組んでおり、積極的に活用し役立てたい。

一方、懸念材料として賃金格差を挙げる声もある。大阪府内の最低賃金は909円と、東京の958円、神奈川の956円に次いで全国3番目となるが、コストコだと1250円以上となる。

経営環境が厳しさを増す中、「厳しい条件の中で働く従業員の賃金を上げていきたいが、いまの経営状況だと難しい」と窮状を訴える声は多い。一方、「千円以上出してもアルバイトを集めるのが難しいのが実態。コストコといえども集めにくい状況なのでは」と指摘する声もある。

今後　各地で続々出店の噂　4月、兵庫・尼崎へ進出

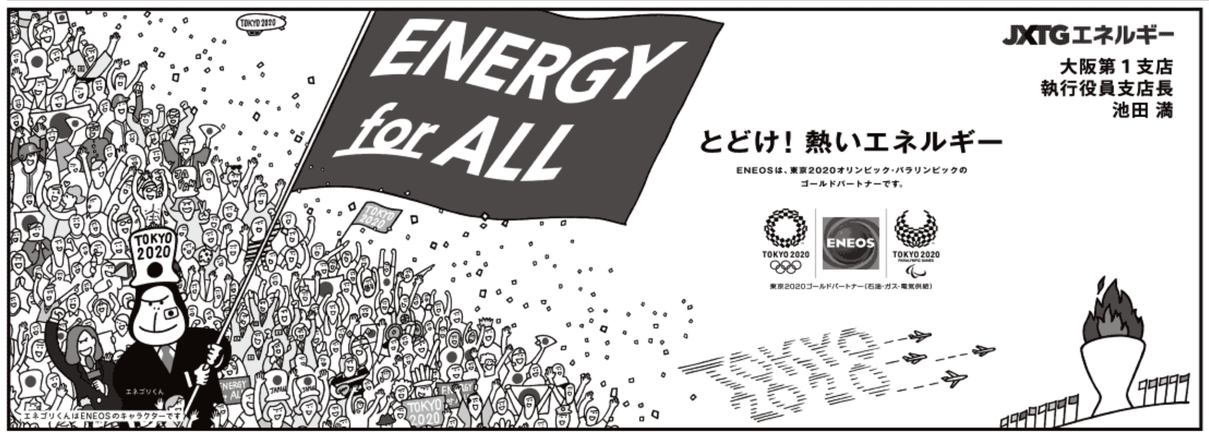
コストコは、関西初のＳＳである和泉倉庫店のオープン後、早くも兵庫・尼崎倉庫店で2店舗目のＳＳ建設に着手する。既存店舗の駐車場を改修する予定で、工事は1月10日から開始し、オープンは4月20日となる見込み。店舗ではすでに告知を開始している。

畿内各地でも建設の話が浮上しては消えており、神経をとがらせる地場業者は少なくない。常に周辺市場を圧倒的に下回る価格を提示していることから、地域によっては、公正取引委員会に不当廉売の疑いがあるとして申告する動きが相次いでいる。尼崎倉庫店は大阪との境界に位置していることから、仮に価格競争が発生すると、兵庫県内だけでなく、大阪府内の地場業者からも巻き込まれることを懸念する声が上がる。

全国で猛威を振るうコストコ旋風。積極的な新店舗開発の動きは止まらず、名古屋でも計画が進みつつあり、地場業者の悩みの種は尽きない。畿内でも同様で、各地に建設の話が浮上しては消えていく。コストコの併設ＳＳ問題は単なる異業種進出ではなく、系列・非系列格差などＳＳ業界の様々な問題が凝縮されており、これからもその動向が注視される。

大阪特集

明けましておめでとうございます



JXTGエネルギー
大阪第１支店
執行役員支店長
池田 満
とどけ！熱いエネルギー
ENEOSは、東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーです。
東京2020ゴールドパートナー（石油・ガス・電気供給）

全石連洗車タオル
好評です!!
●いいモノを安くご提供!!
サンプルご希望の方・お問合せは
最寄りの組合 または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03-3593-5841

旭油業株式会社
代表取締役社長　西　尾　恒　太
大阪市北区中崎西１丁目６番４号　〒530-0015
電　話　（０６）６３７１－９００１（代）
ＦＡＸ　（０６）６３７５－３３２５
URL:http://www.asahiyugyo.co.jp

SHIMADZU
Excellence in Science
ガスクロマトグラフ
Nexis GC-2030
The Next Industry Standard
世界最高レベルの感度と再現性、新しい分析体験をもたらす心地良い操作性、
そして、さまざまなアプリケーションに対応する高い拡張性。
ガスクロマトグラフの新しい業界標準、それがNexis GC-2030です。
株式会社 島津製作所　分析計測事業部　もっと詳しく知りたい方は Nexis GC-2030 検索

痛んだ床も簡単に補修！ SSドライブウェイ簡易補修セット
●ボンド製品だから ひび割れ部分・水溜まり部分・欠損部分・アイランド部分の補修が簡単
施工は日曜大工感覚、翌日には通行可能。

①下地をきれいにする。（注）下地は水洗いしないでください。
②混合液を作る。
③混合液を塗る。（注）塗る量は1セット当たり150～250gまでとする。（全部使い切らないで下さい）
④混合液と骨材を混ぜる。
⑤補修面にコテで押さえて仕上げる。

必要な材料の目安		
塗り厚	10㎜厚	5㎜厚
施工面積（1㎡当たり）	4セット	2セット

梱包容量（1ケース）	色　調
梱包数：4セット入り	グレー

1セット　4.625kg
●樹脂［A主　剤 500g…液体 / B硬化剤 250g…液体］
●C難燃材 125g…粉体
●D骨　材 3750g…粉体

組合員特別価格 1～9ケース19,520円
組合員特別価格 10ケース以上18,520円
製造元：コニシ株式会社ボンド建設部
◎お問い合せは最寄りの石油組合または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03（3593）5841

災害に備え地域の安全拠点へ

近畿特集

国内各地で阪神淡路、東日本など大震災が相次いで発生し、今後も南海トラフ大地震に対する危機感が高まっていることから、畿内各地の石油組合でも災害対策の一環として、災害協定を締結する動きが活発化している。災害時には非常用発電機や緊急車両を稼働させるための燃料確保は欠かせず、自治体を中心に締結の要望は後を絶たない。組合では協定の実行力を高めるべく訓練を実施する一方で、協定締結を機に官公需の受注獲得も少しずつだが成果を出しつつある。

南海トラフ地震の脅威

南海トラフ大地震への懸念が高まっており、昨年も行政機関などからの要請を受け、石油組合が災害協定を締結する動きがみられた1年だった。仮に南海トラフ大地震が発生した場合、太平洋側の港湾や道路の多くは壊滅的な打撃を受け、各地の自治体から自衛隊に対し、出動要請が相次ぐことが予測される。特に海上自衛隊舞鶴地方総監部（菊地聡総監）が物資の輸送などで重要な拠点となる。

京都石商・協（松田好民理事長）はこうした活動を燃料供給面で支援するべく、4月に舞鶴市内で、海上自衛隊舞鶴地方総監部と「災害時等の非常時における燃料等の確保に関する協定」を締結した。協定では、官公需で組合側の受注機会の増大を図ることや、非常時を想定した訓練を行うことで、平素から相互連携の維持確保を図っていく。

調印式には松田理事長や地元・舞鶴支部の中村亨支部長、鳥山正未専務理事が出席。協定に対する社会的な関心も高く、大手新聞社やテレビなどマスコミが多数取材に訪れ、式典終了後、同石商からの出席者に積極的に質問する姿が見られた。

京都は海上自衛隊と災害協定を締結した（右が松田理事長）

阪神淡路の経験生かす

近畿で記憶に残る大震災といえば、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災が挙げられる。当時は中核給油所や小口配送拠点などは整備されていなかったが、地場業者は懸命になって安定供給に尽力した。有事発生後の混乱回避や治安維持のために警察車両への給油は欠かせない。

兵庫石商・協（田中一彦理事長）は11月、兵庫県警察からの要請に応じ「大規模災害発生時における応急対策業務に関する協定」を締結した。

協定締結後、兵庫県警と握手を交わす内芝副理事長（右）

式典には同石商など県内業界団体や企業も参加。式典で県警の西川直哉本部長は「阪神・淡路大震災の発生後はあらゆる装備が不足し、住民の期待に応えることができなかった」と当時を振り返り、特に燃料供給について「車両に対する燃料給油も地震発生後の3日間は確保に大変苦労した記録が残っている」と述べている。

田中理事長の代理として出席した内芝知憲副理事長は、有事に協力し、SS業界の社会的地位向上に尽力することを強調。また、有事発生を想定したSS業界の取り組みを記者団にわかりやすく解説した。

震災から1ヵ月経った2月18日付の本紙では「石油業界と行政が一元的に被害情報の把握をし、安定供給を検討する場が必要とされるのではないか。通産省、元売、組織のそれぞれの対策本部が緊密な連携を取って、営業可能な給油所の把握、油槽所からの配送、必要な情報の提供を行うことが必要である。そのための共通の災害対策マニュアルづくりも今後必要となるだろう」と提言しており、阪神・淡路大震災から20年以上経った今日、有事下での安定供給体制構築に向けて業界は動き出している。

満タン運動協力を要請

大阪石協（安井一男理事長）は5月に大阪府と「災害時等における燃料供給等に関する協定」を締結した。

協定では　同石協官公需委員会（綾田學委員長）を中心に協議を繰り返してきた結果、細則に供給対象施設の概要だけでなく、費用負担については資源エネルギー庁の給油所小売価格調査や産業用価格を参考とし、著しい価格差が発生した場合には別途協議することなどを盛り込み、実効性を高めている。さらに、府に対しては官公需適格組合の活用や『満タン&灯油プラス1缶運動』への理解などを強く要請した。

府と協定を締結した大阪（左が安井理事長）

一方、奈良石商（松本安司理事長）は9月に県と災害協定の協定書を取り交わした。同石商の協定により、47都道府県と全国の各石商との災害協定締結が完了したことになる。また、県の会計局や産業・雇用振興部を訪問し、締結を契機として平時からの官公需適格組合の活用を訴えた。

SSでの実地訓練実施

全石連が近畿2府4県の石油組合と連携して取り組む「緊急時石油製品供給安定化対策事業」（災害ソフト事業）が今年度も実施となった。特に今年度は奈良石商（松本安司理事長）と和歌山石商（森下正紀理事長）はSSでの実地訓練を実施した。

同事業はSSの災害対応力強化が目的だが、実際に店頭で給油訓練を実施することで、災害協定の実効性を確保する面がある。

実地訓練では直下型地震発生との想定のもと、SSの安全確保から被害状況把握、営業再開に向けて非常用自家発電装置への電源切り替えなど一連の手順を経て、消防や警察の緊急車両に優先給油を行った。

奈良の訓練には地元の一般報道各社も数多く駆けつけ、松本理事長はこれらの取材に対し、SS業界が東日本大震災以降、中核SSや小口配送拠点を整備し、さらに住民拠点SSを推し進めていることなどを解説したほか、災害発生時でも安定した燃料供給体制維持への意気込みを強調した。

実地訓練は災害協定の実効性を高める面がある（奈良での訓練の様子）

官公需受注契約の獲得

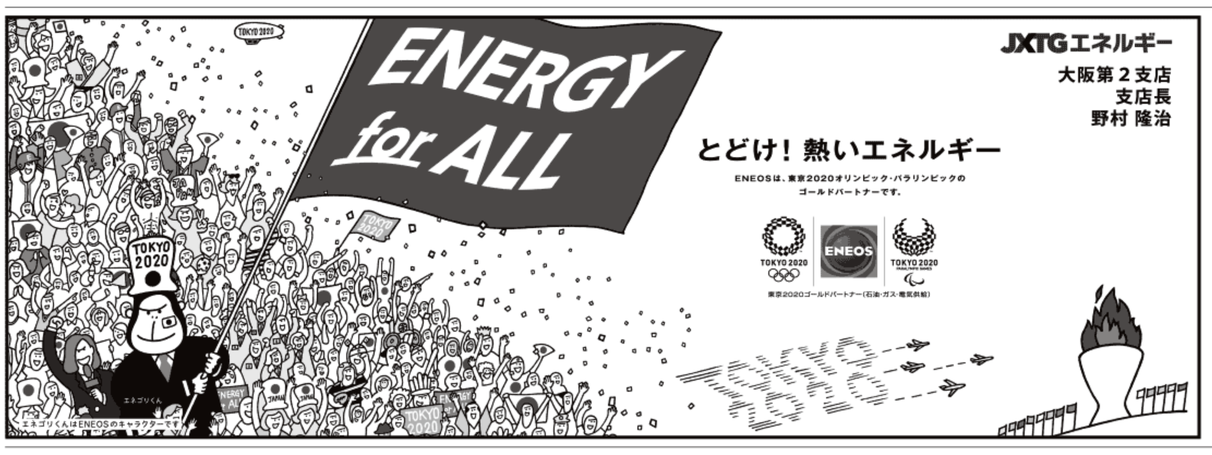
一方、畿内各地では過度な競争入札により、域外の業者に官公需を奪われている実態がある。都市部の各交通局が実施する公営バス向け軽油の入札では、落札業者はほぼ毎回、府県外業者ばかりだ。

自民党の石油流通問題議員連盟（野田毅会長）による積極的な働きかけで、2015年8月の閣議決定では、国の官公需に関する基本方針に「中小石油販売業者に対する配慮」が新たに特記された。経済産業省は政府各府省の担当大臣や各都道府県知事、全市町村長・政令指定都市・東京都特別区の首長宛てに基本方針に沿った対応を要請。総務省も各都道府県知事、各都道府県議会議長宛てに基本方針に沿った対応を要請した。また、石油組合と災害時協定を締結した地方公共団体は、随意契約や分離・分割発注するよう配慮することを求めている。こうした動きを背景に神奈川石協は県警察本部と基本方針に則った形で随意契約締結という成果を上げ、各地でも受注確保につながることを期待する声が上がっている。

近畿地方でも成果を上げつつある。和歌山石商・協（森下正紀理事長）は11月に和歌山市内で和歌山大学と災害協定を締結したほか、大学が使用する燃料については、官公需適格組合を通じて供給する契約も結んだ。6月に資源エネルギー庁・中小企業庁が国立大学法人などに、石油組合との災害協定締結と官公需で中小石油販売業者に対する配慮を促す文書を発出したことがきっかけだ。協定書は、有事の際に燃料を優先供給するだけでなく、学生に限っても5千人以上発生すると予測される帰宅困難者にトイレの貸し出しなどの支援も行う内容となっている。

一方で、全石連近畿支部の西尾恒太支部長は10月に大阪市内で開催した合同会議の席上で、「口を開けているだけで官公需は獲得できない。納入実績の多い組合もあるが、それは積極的に活動した成果で、これからは営業活動も必要になる。協定を活用して官公需獲得に結びつけてほしい」と強調している。

和歌山は地元大学との燃料納入の受注契約を獲得した



全国石油政治連盟近畿支部

支部長　中村　彰一郎

大阪府石油政治連盟　会長　綾田　学
京都府石油政治連盟　会長　吉井　大祐
滋賀県石油政治連盟　会長　竹村　健
奈良県石油政治連盟　会長　今村　禎彦
兵庫県石油政治連盟　会長　中村　彰一郎
和歌山県石油政治連盟　会長　山懸　弘明

TMG TOMINAGA MFG CO

“燃料供給システム”の明日に取組む

謹賀新年

本年も宜しくお願い申し上げます。

ALUNA MULTI アルーナマルチ

新発売

NEW 大型で見やすい高輝度LCD表示器

業界最上級モデルのVA方式高輝度大型LCD表示器を搭載。
ブラック素地に白文字を浮き上がらせ、鮮やかなコントラストと大型文字により昼夜を問わず、どの角度からでもハッキリと見やすい表示を実現しました。

▶給油シグナル
ノズルや給油の状態をお知らせする機能です。
ノズルを取る　ノズルマーク点灯
給油中　給油マーク点滅

▶流速インジケーター
給油中の流速を「4分割」にしたグラフで表示。
流速が一目でわかる安心マークです。

NEW スムーズな給油操作を実現できる スイングデリベリベンド

計量機とホースのジョイント部に「回転式のデリベリベンド」を装着。ホースの有効リーチが大幅にアップし、取り回しもスムーズになります。

安心の“ダブルチェック”水検知機能
AQUATECT® NEW

誤って油中に混入した水を、車両に給油してしまうトラブルを未然に防止。
計量機内部に、2つの高精度水検知センサーを装備し、水を検知すれば強制的に給油をストップします。

http://www.kyoto-tmc.co.jp

株式会社富永製作所　〒604-8493　京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部　☎(075)801-8139代表　FAX(075)801-1373
仙台営業所　☎(022)287-9311　FAX(022)287-9312
東京支店　☎(03)3484-5051　FAX(03)3484-3944
名古屋支店　☎(052)414-1181　FAX(052)414-1180
関西支店　☎(0774)41-3443　FAX(0774)41-3444
広島支店　☎(082)283-2428　FAX(082)283-2606
高松支店　☎(087)843-7130　FAX(087)843-9139
福岡支店　☎(092)651-3168　FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

中国特集

～協定と訓練の「両輪」で～

災害時の供給維持へ

海自など各機関へ拡大

災害協定

中国地域の5石商はそれぞれ県との間で災害時支援協定を締結しているが、最近では県以外との協定締結も行われている。

島根石協（土田好明理事長）では、中国管区警察局島根県情報通信部と災害時の支援協定を締結しているが、このたび海上自衛隊からの要請を受け、海上自衛隊舞鶴地方総監部とも「災害等の非常時における燃料等の確保に関する協定書」を締結することを決めた。これは災害等の非常事態の発生や発生する恐れのある場合に、海上自衛隊の艦船や車両等が支援活動を行う際、組合が燃料等を確保し優先的に供給するというもの。災害時だけでなく、北朝鮮情勢が緊張を増している現在、朝鮮半島と接する海域を守る舞鶴地方総監部の果たす役割の重要性は高まっており、有事に際した燃料優先供給協定締結の意義は非常に大きく、また、平時には受注機会増大に努める配慮もなされる内容となっていることから、双方にとって有意義な協定であると捉えられている。

さらに同石協では、島根大学との間で「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を締結。これは災害時に同大学から救援活動や医療救護活動を円滑に行うために必要な石油類燃料の供給や運搬について協力要請があった場合、同石協が優先的かつ安定的な供給のため積極的に協力するもの。同大学の松江および出雲キャンパスは災害時の避難場所に指定されており、協定に基づきA重油、ガソリン、軽油、灯油を安定的かつ優先的に供給することで電気、飲料水、暖房などの供給確保を後押しする。県の災害拠点病院に指定されている医学部付属病院には、20㌔㍑の重油地下タンク3基、12㌔㍑1基、1・92㌔㍑1基があり、これによって3日間の発電機の運転が可能。電力の供給、冷暖房設備への熱源の提供、材料部への蒸気の提供、給湯の提供などが行える。このほかガソリン・軽油を供給により、傷病者等の受け入れなどの搬送業務が可能となる。こうした避難救助活動や医療救護活動に協力していくことで地域貢献を果たしていく。

大切な平時からの連携

鳥取石商（坂口元昭理事長）の場合、県警との間で協定を結んでいるが、この協定の特色は「災害時に緊急車両への給油は優先的に行うが、それによってSSや一般消費者には迷惑をかけないことや、実効性のある中味にしていること」であり、警察関連での協定としては全国的に珍しいものとなっている。

さらに今後は災害協定の締結の際には、組合員への配慮がなされていない内容であった場合は再考を要請するなど、平時から組合員の受注機会の増大が図られ、双方にとって有意義な形での協定となるよう理解を求めることとしている。

岡山石商（小出総太郎理事長）でも国交省中国地方整備局の岡山河川事務所、岡山国道事務所、宇野港管理事務所などと燃料供給協定を結んでいる。

最近では、2015年8月に閣議決定された「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」において、「中小石油販売業者に対する配慮」という項目が新たに明記されたこともあり、国や地方公共団体は災害時だけでなく、平時においても協定を締結している石油組合や中小石油販売業者の官公需受注機会の増大に努めることが求められている。

中国5県でも平時は地元の組合員以外のSSなどから安値で納入しているにもかかわらず、災害時だけ組合員SSから優先的に燃料供給を受けたいという姿勢には疑問を呈する声があり、災害協定締結の際には、平時から随意契約等の配慮を求めつつ、災害時は優先的に燃料供給できるよう、信頼関係の構築を図っている。

海自舞鶴総監部と協定を結んだ島根石協
（写真㊨＝土田理事長）

災害時には水や食料と同じように重要な物資となるガソリンや灯油などの燃料。東日本大震災や熊本地震の際にも燃料供給を必要とする長い車列が昼夜を問わずできていたことは記憶に新しい。こうしたことを教訓に国やそれに関連する機関、地方自治体などからは石油組合との災害協定の締結を求める声が上がり、組合では内容を精査しながら双方に意義のある協定になるよう努めている。また、地震などの発生でSSが停電などの被害を受けたことを想定した実地訓練による災害対応力の強化や、石油組合の県・消防による防災訓練への参加も活発化するなど、比較的災害リスクが低いとされる中国地方でも防災に対する意識の高まりを感じさせる動きが目立つようになってきた。

実効性向上目指して

対応訓練

東日本大震災や熊本地震を受け、自治体の防災訓練や石油組合独自の実地訓練などが盛んに行われ、地元のSSなどからも多くの参加者を集めている。

広島石商（大野徹理事長）では先ごろ、初めての取り組みとなるSSでの緊急車両への給油訓練を実施した。広島県はこれまでも大型台風・大雨による風水害、それに伴う土砂災害など数多くの災害が発生しており、今後30年以内に発生する確率が高い南海トラフ地震などでは、県内でも震度5強以上の強い揺れに見舞われる可能性があるとされる。実地訓練では震度6強の直下型地震により停電・断水となった状況を想定し、自家発電機を稼働させ、警察や消防の緊急車両への給油を実際に行うことで、災害対応能力の向上を図っている。

避難所への灯油の配送訓練を実施した岡山石商

自家発電機を稼働させる手順も学んだ広島石商

鳥取石商でも、初めての災害時対応実地訓練を米子市内で実施。鳥取県は大型台風・大雨による風水害をはじめ、大雪による車の立ち往生など雪による被害の発生も多くみられる。災害時における緊急車両への優先給油の重要性が再認識されている現在、こうした災害対応研修の継続は、今後SSにおける災害時を見据えた体制作りのための機会として、重要な取り組みであると捉えられている。

高まる継続への期待

岡山石商では昨年も県の防災訓練に参加し、関係機関の連携による実践的な実働訓練の一環として、県災害対策本部の要請を受け、小口燃料配送拠点から小型タンクローリーで避難所に灯油を配送し携行缶に給油する訓練を実施。県民の防災意識の高揚と避難行動等の向上および県・市町村と防災関係機関等との総合化された災害応急対応能力向上を図るための訓練に一役買っている。

島根石商でも2日間、中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練および島根県総合防災訓練に参加。小口配送拠点である松江石油松江油槽所から松江北消防署東部分署に設営された仮貯蔵所まで燃料を搬送し、消防車両に給油する訓練や、自家発電機を稼働させ灯油をローリーに積み込み、避難所である広瀬中央公民館まで配送する訓練などを行った。

また県の総合防災訓練の会場では、「満タン&灯油プラス1缶運動」のノボリやポスターを掲示し、来場者に災害などの非常時に備え、燃料を多めに蓄えておくことを推奨。さらに、自立防災型高効率石油給湯機器の停電時を想定した実演のほか、災害時でも有効利用可能な石油機器や、東日本大震災時の石油供給風景の各種パネルをブース展示するなど、石油販売業界の取り組みをアピールした。

災害時には多くの負傷者が出ることが想定されるが、人命救助にあたる緊急車両が動けなくては多くの人命が失われることにもつながる。これまでも、災害時には中核SSで緊急車両等へ優先供給する仕組みを作ってきた。さらに、資源エネルギー庁では、熊本地震などにおいて、災害時における燃料供給拠点としてのSSの役割が再認識されたことを踏まえ、今後は自家発電機を備え災害時に地域の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」の整備を推進、石油製品の安定供給を通じた我が国の災害対応力の強化を図っていく。地域のエネルギーの安定供給の確保という側面からも定期的な訓練の必要性を求める意見は多く、継続的な取り組みとして根付くことを期待する声が多く聞かれる。

創りたいのは、いい関係。
ELGEO
株式会社エルジオ　岡山市北区大内田764-3
http://www.elgeo.co.jp

広川エナス株式会社
代表取締役社長　廣川正一
本社　広島市西区楠木町1-9-10第二弘億ビル
電話　082（503）7330

コスモ石油特約店
山陰石油株式会社
代表取締役社長　坂口元昭
本社　鳥取県米子市末広町１２７番地
電話　０８５９（３４）１３２１

コスモ石油特約店
ジクシス㈱特約店
横山石油株式会社
会長　横山洋
代表取締役社長　横山圭介
岡山市北区京橋町12番８号
電話 086-223-８２３１(代)

広島県石油販売協同組合　広島県石油商業組合
理事長　大野徹
副理事長　大江英毅　副理事長　廣川正一
副理事長　玉木昌士　副理事長　坂東辰男
副理事長　中内啓二　副理事長　檀上博則

全国石油政治連盟
中国支部
支部長　塔野毅

全国石油商業組合連合会
全国石油業共済協同組合連合会
中国支部
支部長　大江英毅

コスモ石油マーケティング株式会社
西日本支店
支店長　門倉正和
〒732-0824　広島市南区的場町1-3-6　広島的場ビル
電話　０８２－５０６－２８１１

中国コスモ会
会長　岡部憲治
副会長　横山圭介
副会長　坂口元昭

四国特集　～活発化する青年部会活動～

人口減少、少子高齢化、ＥＶやＰＨＶの普及などにより、将来のガソリン需要減少が予測されるなど厳しい経営環境が続く中、四国地区でもＳＳ業界の次世代を担う若手による青年部会活動が活発化している。昨年９月には一昨年に続き第２回目の全石連四国支部青年部交流会が開催され、県や系列という枠を越えて、ＳＳの将来に様々な視点から今後の取り組みなどについて議論を重ねた。各県のこれまでの取り組みを振り返るとともに、今後の青年部会が取り組む方向性について探ってみた。

四国支部では青年部の活動を積極的に支援し、交流会も開催している

四国支部　交流会開き　グループ討論

全石連四国支部では天野博司支部長の「次代を担う若手育成の一環として四国地区全体の交流会を開催したい」との提案に各石商、青年部会が賛同し、一昨年から四国地区青年部交流会を開いている。昨年9月に高松市内で開かれた四国支部青年部交流会には高知、愛媛、香川の3県から17人の青年部会員が参加。当日はグループディスカッションとして3つのグループに分かれ、それぞれ与えられたテーマのもとで討論、グループごとに意見を集約し発表した（**グループ討論要旨は別掲**）。

人材育成は長期的に　業界内外との連携を　労使間の納得が大事

Ａグループは、「ＥＶや水素等のエネルギー変換による需要減時代が迫る中、経営全般でいかに粗利を稼ぐのか」をテーマに討論した。

結論として「20年、30年という長いスパンで市場の動向をウォッチしながら、自社の強みを考慮しつつ、異業種も含めた事業のベストミックスを考え、足元では将来の投資原資となるマージンの確保および人材の育成に取り組むことである」とした。短期的には収益の柱である燃料油マージンを厚くすることが喫緊の課題であり、収益の柱になる取扱商品を増やし顧客との接点の減少を補うことが必要との考えを示した。しかし、一番大事なのは人材であり、特に若い人は大切で、離職を防止するため長期的視点に立った教育をし、育成することが有効ではないかとした。今後は「2040年問題や市場動向を継続的に観察しながら自社の強みを軸に異業種にもアンテナを張りながら検討していく。そのためにはいつでも異業種に参入できるようにしていくことが大事。減販の時代、変化の時代に経営全般で粗利を稼いでいくことが大事である」とまとめた。

Ｂグループは、「石油業界激変時代にお客様はなにをＳＳに求めているのか。そのためになにに投資するのか」というテーマで議論した。若者は利便性を重視する傾向もあり、今後はインターネットを利用した注文などを取り入れてはどうかといった意見が出された。高齢者に対しては冬場の灯油配達など補助的な業務が求められているが、人手やローリーの確保が難しいこともあって、同業者との連携を深めサービスの充実を図ることが大事との意見があった。また、地方自治体は過疎化についての懸念があり、ＳＳと地域とのつながりを利用し、地域の活性化を図っていくことをＳＳに求めているのではないか、企業もＳＳとの連携を考えているのではないかと分析したうえで、異業種との連携のため投資していくべきだとの意見が出された。

例として、現在コンビニが行っている宅配便の受取代行業務や、地方活性化の取り組みとしてイベントの開催という提案もあった。ただインターネットサービスの充実やイベントの開催でも最も重要なのは人材で、やはり最後は人への投資が最も重要になるとの考えを示した。

Ｃグループは、「人手不足が今後もさらに進む中、若者から魅力のある会社にするためには」というテーマで議論した。

若い人の仕事に対するニーズと実際の労働条件に乖離が見られることから、「経営者は社員と個別に話し、労使の考えの差を埋める努力も必要だ」との意見も出た。また、モチベーションを高めるため必要な資格取得を後押ししたり、ホームページなどを通して広く知ってもらうよう取り組むことも大事であるとした。「魅力ある会社とは、油の販売にこだわらず、世の中の変化に対応して経営者と従業員がよくコミュニケーションをとり、明るい未来を共有して各々の役割を果たし、地域社会に貢献し続ける会社である」とし、まずは「労働条件などについて労使双方が納得できるようしっかり話し合うこと、また長く働いてもらえる環境を作っていくことが大事」と結論付けた。

高知　防災テーマに独自活動

新たな視点で将来像模索

高知・青年部が中心となって作成したＳＳ災害時対応マニュアル

四国地区で最初に青年部会を設立したのは高知石商（武井勝一理事長）。2004年10月に、当時の日和﨑次郎理事長の勧めもあって設立した。設立の目的は執行部後継者の育成であり、現執行部の顔ぶれを見ると当初の目的は達成できたといえる。

設立からの主な活動概要については、他県ＳＳの視察や、他県青年部との交流会開催など、情報収集・情報交換に力を注いでいた様子がうかがえる。

また県内の活動としては、07年には小学校への海抜標識の寄贈、南海トラフ巨大地震への対応のための「防災マニュアル」の策定を09年に着手、翌10年に組合員に向けて同マニュアルを配布した。この防災マニュアルは高知県に「震度5弱以上」の地震発生または「大津波」の警報が発令された場合を想定し、災害対策本部の設置についてなど災害時における組織体制の整備とその任務について詳細に示されているだけでなく、災害時の活動のフロー図により指示や報告の方法などが事細かに示されている。

愛媛　先進地視察や研修実施も

愛媛石商（三原英人理事長）では16年の第2回定例会で組織名称を「ＥＨＩＭＥ石油青年部」とし、第3回の定例会で新規約を承認、役員体制を決定し、活動を続けている。17年度は古森恭平会長のもと、年4回の定例会、1回の外部講師を招いての研修会や現地視察の実施を計画。

先進事例などの現地視察としては、藤村石油（藤村泰雄社長）の協力を得て、松山空港で航空機へのジェット燃料給油現場を視察。さらに社会貢献活動の計画立案を行い、県石商とも連携して実施することも検討している。

香川　他県青年部会と情報交換

香川石商（国東宣之理事長）では、12年に「オリーブ会」という名称で青年部組織を立ち上げた。当時理事長であった天野博司現四国支部長の強い希望により設立された「オリーブ会」は、「石油製品販売業の若手経営者の相互連携並びに情報交換の緊密以下を図り、香川県内の業界全体の活性化・充実に資すること」を目的としている。設立後最初の事業となったのは高知石商青年部との交流懇談会。天野支部長はこの懇談会の席上「若手の力、発想を存分に活かしながら、時代の変化に対応できる業界作りに励んでほしい」とエールを送った。

17年度も情報交換の場として親睦会など多くの活動をしており、総会のあいさつで西岡卓也会長は「青年部の存在、若手経営者、後継者がいるということは業界にとって未来があるのにつながる。自分自身も同世代、同じ立場の仲間に支えられてここまで来ることができた。業界の魅力を増していくうえでも、オリーブ会の役割は大きい」として、協力を要請するとともに活動推進への意欲をみせた。

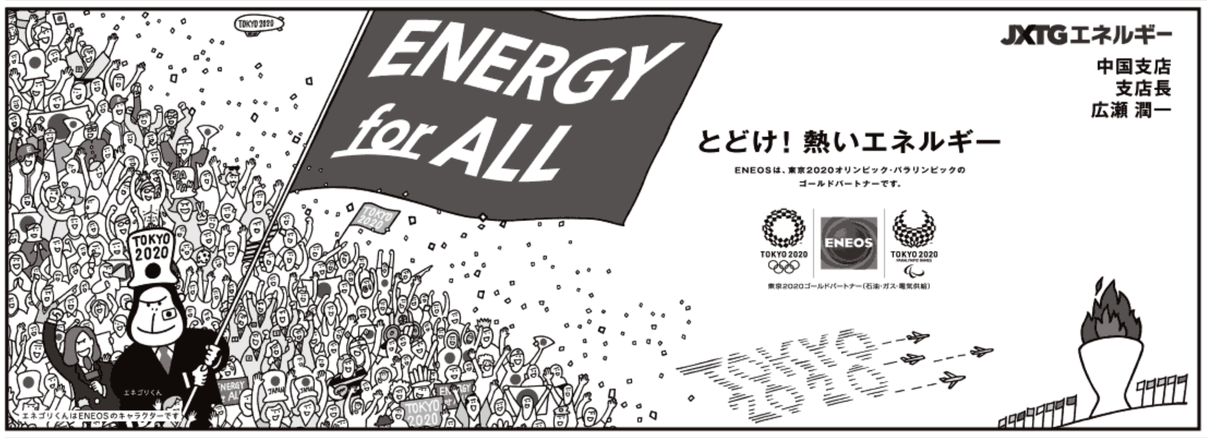
積極的な活動を続ける香川・オリーブ会

加藤文彦全石連副会長・専務理事との意見交換会を開催した愛媛・ＥＨＩＭＥ石油青年部

昭和シェル石油株式会社
中国支店
支店長　新熊隆嘉
広島市中区大手町2-7-10　（広島三井ビル）
電話　（082）249-4424（代表）

この星と人のチカラに。
SOLATO
太陽石油株式会社
四国支店
支店長　森田篤
〒790-0001　愛媛県松山市一番町1丁目14-7（フジコビルＦ　５階）
電話　（089）943-5252

ＪＸＴＧエネルギー株式会社特約店
三原産業株式会社
会長　三原興二
社長　三原英人
宇和島本社／〒798-0007 宇和島市寿町2-9-12　TEL0895-22-5656（代表）　FAX0895-24-6236
松山本社／〒790-0814 松山市味酒町1-4-11　TEL089-947-1170（代表）　FAX089-947-1180



◆速報性　元売の仕切価格情報や気になる市場動向など、速報性が重視されるニュースをリアルタイムでご提供しています。
◆情報量　紙面スペースに制限されず、写真、動画や資料・報告書・チラシなど大容量の情報を適宜掲載しています。
◆eラーニング　石油業界向けのｗｅｂサイトでは初めてｅラーニングを導入。会員ならどなたでも「乙4模擬試験を受験することができ、乙４資格の取得率アップにお役立ていただけます。

★魅力満載の「ぜんせきweb」です。ぜひとも会員のご登録を!!
機関紙「ぜんせき」をご購読いただいている組合員の皆様には、月額千円でご覧いただけます。
（お支払いは半年単位の前払いです）
インターネットを開き「ぜんせきｗｅｂ」で検索 → 「会員登録について」 → オンラインで登録 / ＦＡＸで登録 → 必要事項入力 / 必要事項記載 → 送信 / ＦＡＸ → 全石連よりメール送信

全国コスモ連合会
会長　森洋
北海道コスモ会
東北コスモ会
東京コスモ会
中部コスモ会
近畿コスモ会
中国コスモ会
四国コスモ会
九州コスモ会

一般社団法人 全国石油協会
会長　持田勲
副会長　伊藤豊
副会長　田中一彦
副会長　植松孝一
副会長　松村俊一
副会長　坂口元昭
副会長　加藤文彦
東京都千代田区永田町2丁目17番14号　石油会館
電話　０３－５２５１－２２０１

全国石油政治連盟
会長　西尾恒太
副会長　河辺善一
副会長　荻原正夫
副会長　宇田川雅明
副会長　太田啓一
副会長　中村彰一郎
副会長　塔野毅
副会長　久米壽
副会長　平岡務
東京都千代田区永田町2-17-14
℡03（3593）5781（代）〒100-0014

明日へ進むのも
未来を想うのも
ずっと、きみと、
SOLATO。

太陽石油株式会社　http://www.taiyooil.net/

エネルギーの資源は無限ではありません。地球の自然も無限ではありません。
私たちは、エネルギーを「考える」ことで、エネルギーを「使う」今と未来をつなげます。
はるかな未来へ進むための、たしかな明日へ道を創るために、皆さまと共に歩んでいきたい。
私たちは、SOLATO です。

この星と人のチカラに。
SOLATO

本　社
東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル15F
TEL 03-3502-1601（代）　〒100-0011

未来のために、キグナスができること。

「地球は祖先から譲り受けたものではなく、子孫から借り受けたものである」という言葉があります。
私たちは、現在恩恵を受けている限りあるエネルギー資源を次の世代のために効率よく、有効に使っていかなければなりません。
キグナスは、美しい地球を未来へとバトンタッチするために、よりクリーンな石油製品の提供に努めるとともに、
地域社会の環境に配慮した企業活動を展開しています。
同時に、社会の一員として、社会や暮らしを支えるために石油の安定供給を続けてまいります。
キグナスの一つひとつの足跡は小さくても、大きな未来を支える確かな一歩につながるはず ――。

キグナスはそう信じて、
私たちは、常に高い経営効率のもと、環境に優しいクリーンなエネルギーの供給により、
お客さまに支持・信頼され、満足されるキグナスブランドを確立し、社会に貢献してまいります。

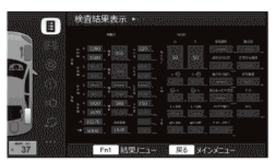
KYGNUS
www.kygnus.co.jp

イヤサカが提案する車検ビジネスの進化系

検査ライン・コントロール・表示・判定システム

アイディス アルファ
iDISα
新製品

来店型車検ビジネスの
実現を強力サポート!!



●ワイド画面・アニメーションを採用し、斬新な画面デザインにより、見やすさと操作性が向上しました。
●多彩な機能と使い易い操作性、合否判定を瞬時にディスプレイ表示。

販売元　株式会社イヤサカ　本社／〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9　TEL. 03-3833-6110　FAX. 03-5688-7074
製造元　彌榮精機株式會社　〒270-1338 千葉県印西市松崎台1-8-4　TEL.0476-85-6677 FAX.0476-85-6678

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ

BLIZZAK VRX2 誕生

冬こそ、性能で「ちゃんと買い」。

性能向上ポイント①　「アクティブ発泡ゴム２」で、氷上ブレーキ性能10％アップ。※1
性能向上ポイント②　新「非対称パタン」で、より止まる・曲がる。
性能向上ポイント③　さらに快適、さらに長持ち。

BLIZZAK
※1.「BLIZZAK VRX」との比較。※2. 詳しくは、カタログ・WEBをご参照ください。
※2 2台に1台がブリザック　北海道/北東北主要5都市での装着率

株式会社ブリヂストン
[ブリヂストンお客様相談室] フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を!
www.bridgestone.co.jp
Worldwide Tire Partner

2018　今年もお客さまのベストパートナーとして貢献できますよう
邁進して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

DAIFUKU
Always an Edge Ahead

新機一転

今年も最新鋭の洗車機を提供

私たちはドライバーやSSスタッフが求める製品やサービスを常に追求しています。高い洗浄・乾燥・仕上げでお店の収益向上に貢献するとともに、クルマのある豊かで便利な社会を支えるため、今年も最新鋭の洗車機を提供して参ります。

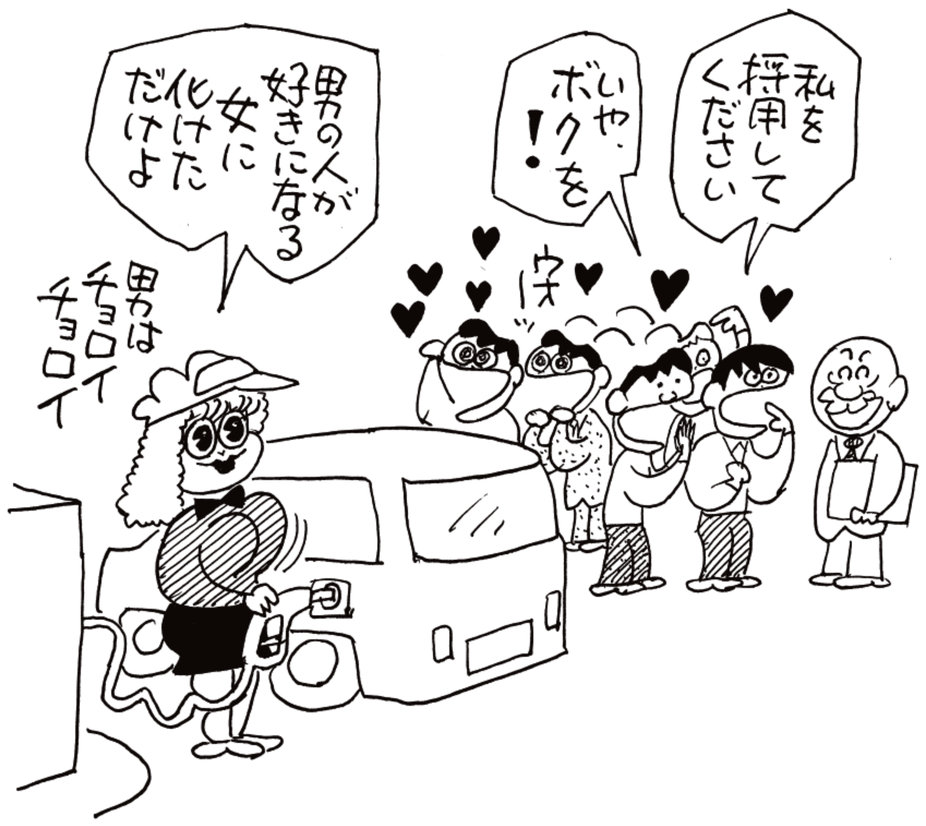
CAMION Custom NEW
大型洗車機「カミオン　カスタム」
※1月下旬販売開始

［販売／サービス］　株式会社ダイフクプラスモア　www.daifuku-carwash.jp
営業本部：〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3　TEL(03)6721-3556
北海道支店：TEL(011)806-1069　関東第1支店：TEL(043)235-2415　東京支店：TEL(042)498-1141　中部支店：TEL(0568)74-1561　中四国支店：TEL(082)850-0571
東北支店：TEL(022)776-6061　関東第2支店：TEL(048)651-5711　静岡支店：TEL(054)376-6291　関西支店：TEL(06)6476-2505　九州支店：TEL(092)473-6751

［製　造］　株式会社ダイフク　www.daifuku.com/jp
本　　社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11　TEL(06)6472-1261（代）
AWT事業部：〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225　TEL(0748)53-0321（代）

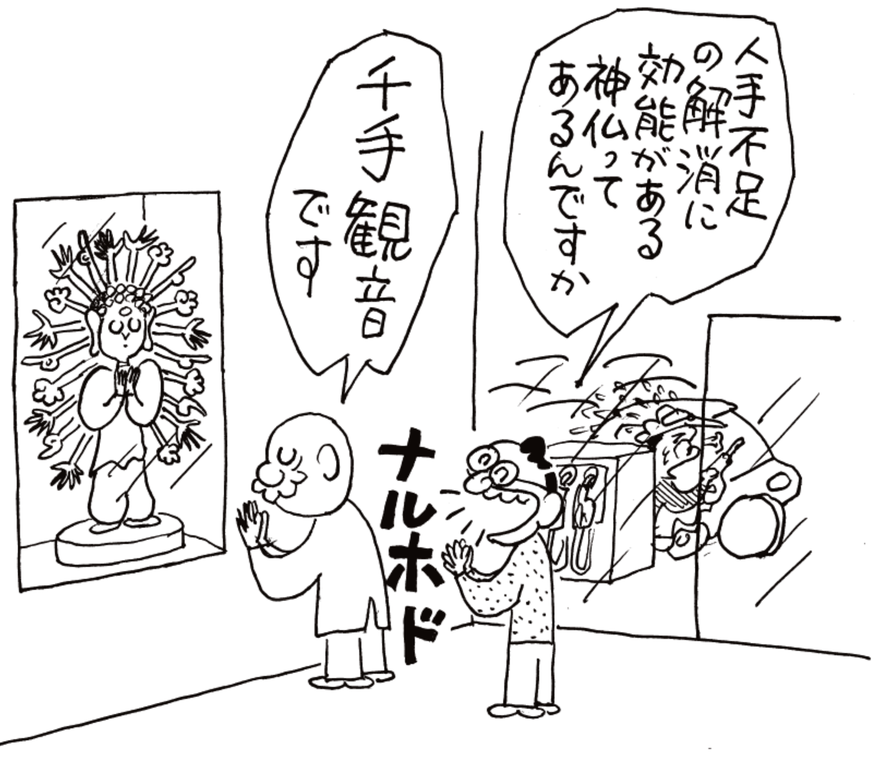
洗車機の保守・修理は・・・　サービスセンター
0120-028-521
受付時間：月曜～土曜／8:00～19:00　日曜・祝日／9:00～17:30（元日除く）

人手不足？なんじゃらホイ



「人手不足」の解消なんて、「お茶の子サイサイよ」なーんてデコちゃんがいうのでやらせてみたら、アララアララ、この「人手不足」は、たちまち解消した。

「人手不足」で社員が少なくなったから、掃除が手抜きになってるんじゃないのといわれた。ナンノ、ナンノ。わが社では、床面に水をまいてデッキブラシでこすり始めたところに、カーリングのストーンを置くわけよ。そのストーンを思い通りに動かしたくてこすりにこするから、わが社の床面はピッカピカのピッカピカだよ。



わが国の「人手不足」は、日本経済のブレーキになっている。で、日本経済のために、この「人手不足」が解消されることを、けんめいに祈ってるのよ。

浜坂高一郎

大量使いにうれしいお買得価格!!

洗車タオル

人気NO.1 手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち ●吸水性UP
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥87
サイズ:約34cm×48cm 重さ:180匁(約56g)
カラー:白・青・ピンク・黄色 素材:綿100%

マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性 ●クルマにキズがつきにくい
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
※但し、沖縄・離島は送料別途
¥91
サイズ:約30cmx48cm 重さ:約38g カラー:白・青・ピンク・黄色
素材:ポリエステル80%・ナイロン20%

高級マイクロファイバー
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥120
サイズ:約40cmx40cm 重さ:約61g
カラー:白・青・赤・黄色
素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※60枚以上、10枚単位で受注可能
※60枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ:約40cm×40cm 重さ:約50g
カラー:青・赤・緑・黄色
素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は 200 枚以上、100 枚単位
※200 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

110匁タオル（グリーン）
●車内拭きに適したサイズ ●毛羽が出にくい
300枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥58
サイズ:約33cm×40cm
重さ:110匁(約34g)
カラー:グリーンのみ 素材:綿100%
※ご注文は 100 枚以上、100 枚単位
※300 枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ:約34cm×48cm
重さ:200匁(約62g) 素材:綿100%
カラー:白・青・ピンク・緑・黄色

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい ●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
※但し、離島は送料別途
¥70
サイズ:約34cm×43cm
重さ:140匁(約44g)
カラー:白・青・ピンク 素材:綿100%

※ご注文単位は1色60枚。180枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエア・110匁は除く）。

タオル用液体洗剤 タオルクリーンSS 18Lポリ容器 ¥6,850（税別・送料込 但し沖縄離島は別途）

サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

☆健康保険組合は皆様の健康保持を真剣に考えています★

健康診断を定期的に受診しましょう！

全国石油（業）健康保険組合協議会
会長　酒井英彦

石油製品販売健康保険組合
理事長 酒井英彦　常務理事 浜名一
東京都千代田区三番町1－5　電話 03(3265)3201

神奈川県石油業健康保険組合
理事長 小泉光一郎　常務理事 早川正通
横浜市中区万代町3-5-3(神奈川県石油会館)　電話 045(641)2473

大阪府石油健康保険組合
理事長 安部慶尚　常務理事 今中三晴
大阪市中央区本町2-1-6(堺筋本町センタービル6階)　電話 06(6125)1200

東海地区石油業健康保険組合
理事長 荒木義夫　常務理事 眞島年朗
名古屋市中区正木3-2-70(石油会館)　電話 052(321)3110

静岡県石油健康保険組合
理事長 佐野裕永　常務理事 井水博史
静岡市駿河区緑が丘町1-3(静岡県石油会館)　電話 054(282)4356

★加入申出及び健康診断受診のお問い合わせは、各々の健康保険組合まで☆

経営資源を見直そう！

ＳＳ業界は大きな曲がり角を迎えている。これまでの「ガソリンを売って安定した経営を続ける」というビジネスモデルは極めて困難な状況になっている。低燃費車が急増する中で、前門にはＥＶが待ち構え後門には燃料電池車（ＦＣＶ）も迫っている。一方で、燃料油販売から始まった100年以上の歴史を持つＳＳには底力があるはずだ。それは、ＳＳが地域住民にとってなくてはならない存在だということだ。住民、顧客との間の信頼という名の『きずな』は、ＳＳだけが持つ〝武器〟とも言える。それを生かすことが生き残りの生命線だ。「油外を伸ばそう」はＳＳ業界の合言葉だが、実際には「難しい」と思い込んで敬遠する経営者も少なくないといわれる。そうした背景もあって全石連は今年度新たにコーティング、鈑金リペア、中古車査定などをテーマにした研修を各地で開催した。これらの研修内容を踏まえながら、ＳＳの新たなチャレンジを考える。

厳しい環境の中で生き残るためにＳＳ経営資源の深堀りが必須

ＳＳだけの武器、『きずな』生かして

洗車からさらに先の次元へ

ＳＳでの展開に最適

コーティング

ていねいな作業で見違えるほどの輝きがよみがえる（鹿児島石商の研修で）

少子高齢化や若者のクルマ離れによって車の保有台数が減少する一方で、車の使用年数は伸びている。それに伴ってクルマを「キレイに乗りたい」というニーズが高まっている。

クルマのアフターマーケットにはディーラー、中古車販売店など異業種の参入も目立ち、ＳＳは守勢に回っている。

しかし、洗車需要が多いＳＳにとってコーティングは洗車の延長線にあると捉えれば、ＳＳに最適な事業といえる。

鹿児島市では「コーティング研修」があった。県各地のＳＳから女性を含めてＳＳスタッフが参加した。

研修はコーティング事業を差別化するために、より高度化したメニューを提案した「硬質ガラスコーティング」について座学と実習で学んだ。全石連から派遣された専門の技術者がわかりやすく説明し、ＳＳ店舗での展開を具体的に提案した。

コーティング作業はタイヤとホイールの洗浄から始まる。ホイール全体とタイヤに、アルカリ性クリーナーをホイールの中心から「の」の字型に塗ってクリーニングする。次にボディを水洗いして、砂やホコリ、汚れなどを落とす。洗車スポンジ、マイクロファイバーを使い、シャンプーでていねいに洗う。

ボディ全体の水分を拭き取った後で、モールや樹脂・ゴム部分などを保護するためにマスキングテープを貼って保護。

講師は「フロントガラスはマスキングテープや新聞紙で保護してください。はずせるバンパーははずしてください」と指示。

ポリッシャーを使ってボディ研磨を開始。パフに小豆大のコンパウンドを3ヵ所につけて、磨く面に広げてから研磨する。この際、ポリッシャーを強く押し付けないのがコツ。キズや汚れが取れにくい時は再度研磨し、いろいろな角度から見てキズや汚れがなくなったかを確認する。さらに仕上げの研磨をしたうえでマスキングをはずす。

受講した女性スタッフは「実際に作業をしたみたらポリッシャーは意外に軽くて、作業しやすいことがわかった。これなら女性でもできます」と話していた。

4つの変化で伸びる需要

安さ、速さ、美しさウリに

リペア（軽鈑金）

鈑金と変わらない仕上がりで人気上昇（宮崎石商の研修で）

宮崎市で昨年10月に開催された「バンパークイック補修研修」体験には県内のＳＳ経営者らが参加、真剣な表情で講師の話に聞き入っていた。

「リペア（軽鈑金）を取り囲む4つの環境変化が起こっています。自働車保険料率の変更で低額の補修なら保険を使わずにリペアで済ませる人が増えている。リペア需要の8割が40代以上で今後の需要増が見込まれる。車の耐用年数が長くなり乗用車は12年を超え、それだけキズのある車が増える。スマホの普及によってネット検索して価格の安いリペアを選ぶ人が増える……」

リペアは鈑金とは異なる『商品』だ。鈑金はキズを修復し新車に近づけることだが、リペアはキズを見えにくくする作業だ。キーワードは「安い、速い、キレイ」。

価格でいえばディーラーの約半額で、基本は1日で仕上がり、一般の人には鈑金と変わらない仕上げに見えるようになる。早くいえば、「10分で千円」を売り文句にしている理髪店と同じ発想だ。

座学を終えて実習が始まった。

バンパーの「えぐれキズ」を補修する。最初にキズの位置とカラーナンバーを確認してから、「えぐれ」を研磨する。パティシュにポリパテを乗せ、硬化剤を加えて練り合わせる。

キズ部分にパテを盛り、ヒーターで乾燥させる。「パテの乾燥時間は10分間です。パテの薄い部分をツメでひっかき白い線が引けるのが乾燥の目安です」と細かいアドバイスが入る。

乾燥後にペーパーで磨いてから、さらに細かい目のペーパーでパテ面を滑らかにする。マスキングをした後に塗料を吹き付け仕上げをする。

田尻石油店（出光系）の田尻和吉社長は、『地域密着のＳＳ経営』をモットーにしている。現在はリペア事業はやっておらず、顧客から「キズを直したい」という相談があると鈑金業者を紹介していた。

今回、自分でもできないかと思い受講した。実際にバンパーの補修作業をやってみて「思っていたよりも簡単に技術を習得できそうだ」と感じ、将来的にはＳＳでの事業化を考えている。

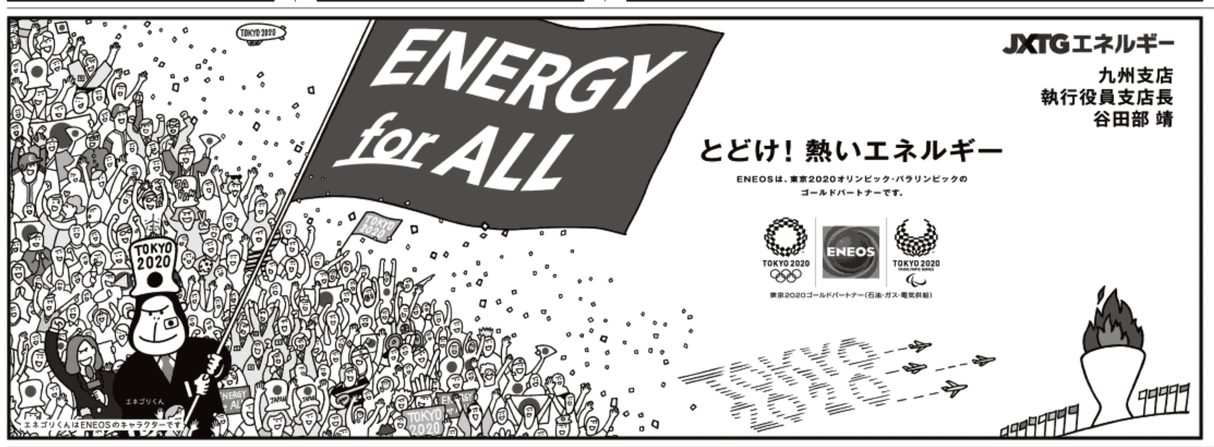
POS伝票・ロール紙は石油組合へ!!
お申込み・お問合せは
最寄りの組合 または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03-3593-5841

㈱西石油
代表取締役 西 謙二
〒874-0836 大分県別府市東荘園八丁目一組
PHONE〇九七―二二―二四一
FAX 〇九七―二三―一四七一
E-mail:kknishi@ime.ocn.ne.jp

昭和シェル石油株式会社
九州支店
支店長 大石 朗
福岡市中央区天神３－１１－１天神武藤ビル
電話 ０９２（７５２）５３１３

出光興産株式会社販売店
出光ユニテック株式会社販売店
アポロ興産株式会社
代表取締役社長 馬渡清光
統括事業本部/長崎県島原市新湊1丁目32番地1
第３マルデンビル４階
TEL 0957(62)6281

KITAMURA
お車のメンテナンスは喜多村ネットワークで!
株式会社 喜多村石油店
石油販売・自動車関連商品・自動車販売
代表取締役社長 喜多村 利秀
本 社 〒812-0007 福岡市博多区東比恵1丁目2番16号
TEL(092)452-8900 FAX(092)452-8910



JXTGエネルギー
九州支店
執行役員支店長
谷田部 靖
とどけ！熱いエネルギー
ENEOSは、東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーです。
エネゴリくんはENEOSのキャラクターです。

エネルギーは、人の中にある。
HAYASHIKANEOIL CO., LTD
㈱林兼石油株式会社
本 社｜福岡市中央区渡辺通４丁目10番10号紙与天神ビル９階
支 店｜福岡支店・長崎支店・下関支店・鹿児島支店・大阪支店・佐世保販売支店
油槽所｜福岡・長崎・長崎漁港・佐世保・下関・鹿児島
久留米・佐賀・菊陽・大村・五島
http://www.hayashikaneoil.co.jp

全石連の
リサイクルトナーカートリッジ
業界最長クラスの18か月保証
送料無料・不要カートリッジ回収無料
日常業務の必需品であるトナーカートリッジを豊富にご用意。全メーカー取り扱っています。

Canon
EP-32 印字枚数 5,000 枚 @0.98円 ￥4,900
カートリッジ303 印字枚数 2,000 枚 @1.90円 ￥3,800
カートリッジ303（大容量） 印字枚数 3,500 枚 @1.40円 ￥4,900
カートリッジ510Ⅱ 印字枚数 12,000 枚 @0.63円 ￥7,600
カートリッジ515Ⅱ（30%増量） 印字枚数 9,100 枚 @0.97円 ￥8,800
カートリッジ519Ⅱ 印字枚数 6,400 枚 @0.86円 ￥5,500
カートリッジ519Ⅱ（30%増量） 印字枚数 8,300 枚 @0.77円 ￥6,400

RICOH
IPSiO SP3400H 印字枚数 5,000 枚 @1.08円 ￥5,400
IPSiO SP6100H（30%増量） 印字枚数 19,500 枚 @0.40円 ￥7,800
EPSON
LPA4ETC8 印字枚数 6,000 枚 @0.92円 ￥5,500
OKI
TNR-M4A 印字枚数 2,500 枚 @1.52円 ￥3,800
TNR-M4B 印字枚数 3,000 枚 @1.57円 ￥4,300
TNR-M4G2 新登場!! 印字枚数 12,000 枚 @0.72円 ￥8,600
※価格はすべて税別
ご注文・お問合せは
最寄の石油組合または
全石連共同事業グループ ☎03-3593-5841

IDEX
なくては ならない なにかを
ＩＤＥＸは１９２６年（大正15年）石油商社として誕生。
石油、自動車、電力、オフィス、食と暮らし、不動産
6つの分野で人々に貢献する企業グループでありたいと考えています。
暮らしに、地域に、社会にとっての
「なくては ならない なにか」こそ、私たちの事業領域です。
石油も、石油以外も、ＩＤＥＸ。

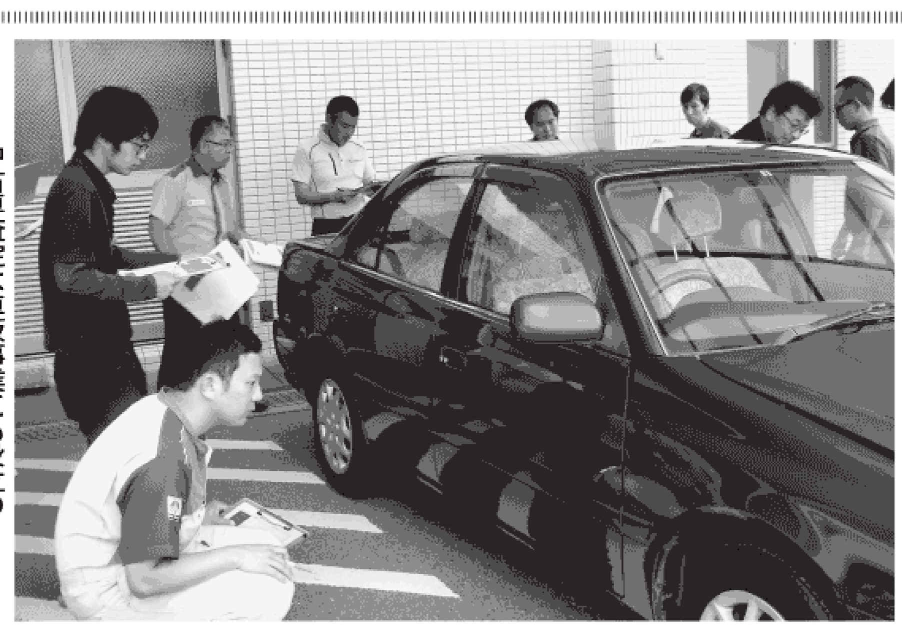
イデっくん
株式会社 新出光
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町１番10号 TEL：092-291-4134

九州特集　SSの生き残りのために

中古車販売(オークション)

顧客の目で共に選ぶ

リスク少なく手軽に参入


中古車査定は車販事業にも役立つ(宮崎石商の研修で)

中古車の販売はSSに適した環境にあります――と車販専門家は断言する。なかでも「オークション仕入れ」による販売は、SSの特性を生かし参入しやすく、リスクも少ないなど、多くのメリットを持つ。

一般に中古車販売店は在庫型が多く、店頭に多くの商品を展示しなくてはならない。「100台展示したら、30台売れないと成り立たない」といわれており、在庫リスクは避けがたい。さらに、かなりの資金も必要だ。

その点、SSには有利な条件がそろっている。給油に来た顧客に定期的に接触できるために「車の購入を考えている」などの情報を得やすい。また、給油客のほとんどは車の購入の〝決定権者〟なので直接購入を勧めやすい。在庫リスクがないことは言うまでもない。

おおまかな仕組みはこうだ。

購入希望客から、希望価格、車種、グレード、年式などの要望を聞き取ったうえで、全国に100ヵ所以上ある車のオークションサイトにアクセスする。オークション会場では毎週10万台以上が出品されており、車ごとに1~10点で評価されている。

SSは客と相談しながら商談を進め、希望の車が見つかれば落札する。落札金額に販売手数料、陸送費、自賠責、修理保証などを加えた価格が販売金額になる。SSの主な利益はオークション手数料だが、面倒な自賠責、車庫証明の手続きを代行することでプラスの収益が期待できる。

ただ、SSがオークションに参入するには専門業者による研修を受けなければ難しい。それに一定の時間と費用も必要だ。

全石連では「中古車査定研修」も実施した。中古車販売を手掛けるSSでは必須の技術で、ボディーの構造の説明から始まり、サビや腐食のチェック、また部品を交換した履歴を判断する方法を説明。

「アルミホイール、ホイルキャップのキズ、曲がり、破損、またドアミラーのキズ、割れ、破損などは要注意部品」と具体的に指導した。

提言　西尾直毅氏(UDEXコンサルティング・インク代表)

待つ姿勢からの脱却

新たなターゲットは地域住民

日本での石油需要は減少するものとみられているが、それでもまだ20年、30年は続くだろう。ガソリンが年率3%ずつ減少するとすれば、20年後には現在の54%、さらに30年後には40%になる。

現在8千万台あるという国内の車が年間400万台ずつEVなどに買い換えられるとしても、すべて置き換わるのには20年かかることになる。

SSにとっては、EVや充電器などの販売は収益拡大のチャンスになるかもしれないが、充電などに関係するビジネスチャンスはほとんどない。

元売の集約によってSS業界の財務状況が良くなるというのは錯覚だ。元売は精製・流通チャンネルだけを考えており、それにより精製・流通コストは縮減されるが、販売状況は改善されない。

販売業界では混乱が続くと思われ、混乱から脱するためには自らの決断と行動が求められる。

ガソリンを安売りして、顧客を囲い込んで油外を増やそうというのは最早時代遅れの発想だ。洗車、タイヤ、バッテリー、鈑金など、販売チャンスはこれからも広がっていく。

SSは、やってくる客を待つという考えからは脱皮して、これからは客のところに出かける、といった発想に変えるべきだ。

新しい顧客ターゲットは地域社会の住民だ。買い物、送迎のための運転など、主婦や高齢者を対象にしたサービスなどを含めて『生活提案ビジネス』は収益にもつながっていく。

カリスマ販売員　茂木久美子氏に聞く

『心地よさ』の提供を

接客は関心を持つことから

お客様とともに物語をつくりたいと言う茂木氏(佐賀石商の研修で)

「タイヤのキャンペーンが始まりましたが、嫌がる若いスタッフがいたとします。その時、先輩であるあなたはなんと言いますか」という問いかけで始まった茂木久美子さんの研修は受講生に大きな感動を与えた。あるSS経営者は「これを聞かなかった人は損をしたな」とつぶやいた。最年少でJR東日本管内の車内販売員のチーフインストラクターに抜擢された伝説の『カリスマ販売員』が語ったこととは―。

◇

〝売る〟ための意識

私が意識していたのは「お客様に心地よい時間を過ごしてもらうこと」です。ですから一度もお客様に「買ってください」と言ったことはありません。

接客の第一歩はお客様に関心を持つことだと思います。モノを売ることでなく、気持ちよく時間を過ごしてもらい問題を解決してあげることです。そのためには興味を持たなくてはなりません。

ある年配のお客様がおまんじゅうを買われました。お土産にするのだそうです。その後、私は気づきました。おまんじゅうの数が少ないのではないか。そこでお客様のところに戻り、「皆さんにお配りする分、ありますか」と聞きました。すると指を折って数え「あれ、足りない」と言われ、もうひと箱買われました。

これは売りつけたのではなく、問題を解決する提案をしたのです。

私が知っている車の販売店はいつもお客様で賑わっています。店内をのぞいてみると、お客様だけではなくスタッフも一緒になって車販売とは関係ないハイキングの打ち合わせをしています。車を買う・売るの関係性を超えているのです。なぜかお客様が集まる、そんな店作りをしましょう。

◆　◆

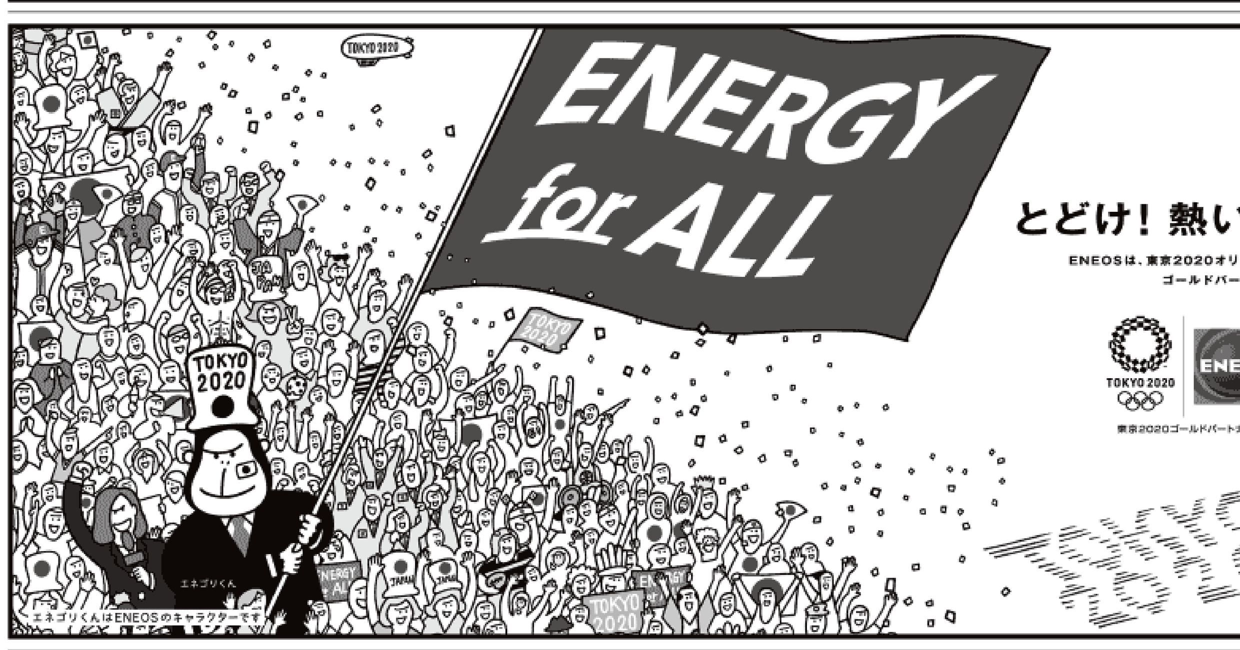
茂木さんは販売用ワゴンを前から『引く』やり方で車内販売した。『押す』よりもかなり重労働だが、『引く』ことでお客となるべく長い間、視線を合わせることができる。茂木さんの願いは「お客様と物語をつくり、商品以外のものを売る」ことだ。

その茂木さんが語る「タイヤキャンペーン」の〝答え〟は。

「お客様に売りつける気持ちだから嫌になるのです。万一タイヤにキズがあったり、滑りやすくなっていたら、お客様の命にもかかわります。お客様の安全を守りたいのです、という自分の思いを伝えましょう」。

全国石油政治連盟
九州地区連合会
会長　平岡　務
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-15　ふくおか石油会館5階　TEL 092-282-0932　FAX 092-282-0804

全国石油商業組合連合会
九州支部
支部長　喜多村利秀
副支部長　西謙二
副支部長　三角清一
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-15　ふくおか石油会館5階　TEL092-282-0932　FAX092-282-0804



JXTGエネルギー
沖縄支店
支店長
米原 秀和
とどけ！熱いエネルギー
ENEOSは、東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーです。
東京2020ゴールドパートナー(石油・ガス・電気供給)

“電気料金”払い過ぎていませんか？
電子ブレーカー 26,000件以上の導入実績
低圧動力を15kW以上にてご契約の方は、
『電子ブレーカー』を活用することで電気基本料金を見直せます！
電力会社の承認を受ける公的に認められたコスト削減方法
高性能電子ブレーカー(CPU制御)を設置し、電力契約を変更することで電気料金を大幅に削減。
従来のブレーカー　必要以上の電気基本料金を支払う
電気基本料金の平均50%削減
高性能電子ブレーカー　電気基本料金を安く設定できる

■導入事例
あるガソリンスタンド様での導入実績
従来プラン　負荷設備契約 29kW　31,059円/月
新料金プラン　主開閉器契約 12kW　12,852円/月
削減料金　月額 18,207円　年間 218,484円
お問い合せは 全石連 共同事業G TEL：03(3593)5841

2,000万円台で完成！平成27年1月オープン
JA大分院内SS(コンパクトSS)

九州一円を駆け巡る危険物施設のプロ集団
九州エナジーテック株式会社
〒861-8006 熊本市北区龍田2丁目29-15　TEL.096-348-0077　FAX.096-348-0088
フリーダイヤル：0120-360-941　ホームページ：九州エナジーテック　検索
2000万円台の予算でコンパクトSSを計画してみませんか！
●地下タンク入れ換えの補助金継続中！
●給油所解体工事補助金継続中！
●地下タンク漏洩検査受付中！
◎九州一円同じ価格で工事いたします！
◎お電話頂ければすぐに参上します。早朝、夜でもOKです！
ホームページをリニューアル！ http://www.sun-kyu.co.jp
※スマートフォンからも検索できます！ ⇒⇒⇒
○一級建築士事務所(熊本県知事登録第2970号)
○建設業(熊本県知事(般-18)第16242号)
○地下タンクFRPライニング工事(全危協(初)第4303号)
○地下タンク漏洩・検査(全危協 地(1)第43015号)

漏えい検知はSKK
改正消防法適合品
2018 謹賀新年
統計学的在庫管理分析
SIRA
100%の安全はありえない
高精度液面計 デジタル・スーパービジョン®

本システムは、地下貯蔵タンク・各種地下埋設配管・計量機本体からの漏えい、タンクへの入水、さらには計量機による過給油などをローコストで早期に発見するための支援ツールです。
当社が提供するレイトン・オブライエン社の「SIRA」は、世界の主要な大手石油会社が採用。
20年以上にわたる世界19ヶ国での膨大な分析実績を持ち、同業界において世界トップクラスのシェアを誇っています。
●当社製高精度液面計と本システムを組み合わせることにより、さらにスピーディーで、かつ飛躍的に向上した検知精度による二重の安全と安心を提供！
●3年(または1年)毎に必要であった圧力検査などによる消防法で定められた漏れの点検(定期点検)が不要！
●高額な初期投資や設備投資が不要！
Hi-Touch & Hi-Tech SKK SHOWA KIKI KOGYO LEIGHTON O'BRIEN
日本とオーストラリアの最先端テクノロジー
信頼と技術で未来へ 昭和機器工業株式会社
営業本部／〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2丁目9-5　TEL.03-3716-5777(代表)　FAX.03-3716-2384
本社／〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目33-32　TEL.092-431-5131(代表)　FAX.092-431-3851
ISO 9001 ISO 14001 JQA-QMA11772 JQA-EM5031 本社・福岡工場・太宰府工場 MS JAB CM009

JXTGエネルギー

とどけ！熱いエネルギー

東京2020オリンピック・パラリンピックの大きな夢に向かって、
日々自分と戦っている選手たちへ。その夢をともに支える人たちへ。
そんな彼らを見て、自分も頑張ろうと心に誓うすべての人へ。
エネルギーの会社ENEOSは、一人ひとりを明日へ動かすチカラになります。

ENEOSは、東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーです。

東京2020ゴールドパートナー（石油・ガス・電気供給）

ENERGY for ALL

TATSUNO

TATSUNO Challenge

100年の時を刻む歴史と経験、技術。そして次世代ニーズを融合し、未来を創ります。

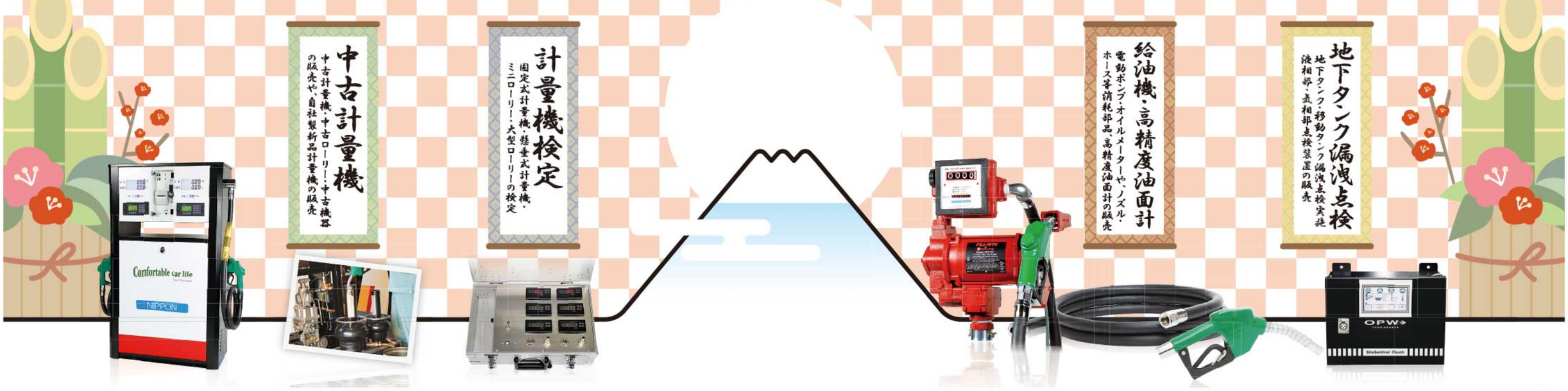
一歩先行く「環境づくり」にチャレンジ。

タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、
経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、
さらなる努力を重ねてまいります。

ベーパー液化回収装置　L100R　TOWER-NX D70S　SUNNY-NX D70S

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目２番６号　050-9000-0567　http://www.tatsuno.co.jp/

私達は今年も全国のガソリンスタンドを応援します。



当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏洩点検・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。

無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏洩点検
◆移動タンク漏洩点検　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。

日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17
TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787